

令和4年度

わかりやすいかさまの予算

文化交流都市 笠間～未来への挑戦～



道の駅かさま

はじめに

新型コロナウイルス感染症は、変異を繰り返しながら、世界中で感染の拡大が続いています。国内でも数次に渡る流行を経験し、感染の拡大を抑制するために社会経済活動の制約を余儀なくされています。新型コロナウイルス感染症の克服は、今なお喫緊の課題であり、本市におきましても、引き続き新型コロナウイルスへの対応を最優先に進めてまいります。

市の財政状況につきましては、社会保障関連経費に加え、重点的な公共施設の整備等、感染症対応、脱炭素地域推進やデジタル化の実現に向けた経費が必要となるなど、一段と厳しい財政状況が続くものと予想されます。

このようなことから、予算編成方針の基本的な考え方として、健全な財政運営を継続するため、中長期的なコスト意識を持ち、財源不足の解消に向けて積極的に取り組む必要があるとし、全部署において経費の見直しを図り、重点的な課題への新たな取組みを積極的に進めることとしました。

また、少子化、高齢化を背景とした様々な課題や脱炭素化など地球規模の課題など、統合的な対策が求められています。

この状況を受け、令和4年度は、「ダイバーシティの推進（多様な人材の育成と確保）」、「デジタル化の推進」、「脱炭素社会の実現」を視点としながら、「住みたくなる笠間暮らしの構築（地域社会と経済の活性化）」を重点課題とし、「笠間市第2次総合計画」及び「第2期笠間市創生総合戦略」に即した52の取組みを重要事務事業として設定し、人口減少時代、そしてコロナ禍における挑戦を継続していきます。

笠間市の予算について、市民の皆さまに納めていただいた税金などが、どのように使われるのかをお知らせするため、「わかりやすいかさまの予算」を作成いたしましたので、どうぞご覧ください。

これからも「開かれた市政、情報公開」を理念に、信頼できる行政をめざしてまいりますので、今後とも、市政へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和4年3月

笠間市長 山口伸樹

目次

| | | |
|------|--------------------|----|
| I | 予算の概要 | 1 |
| II | 重要事務事業 | 2 |
| III | 重要事務事業一覧 | 9 |
| IV | 各会計の予算額 | 12 |
| | 一般会計 | 12 |
| | 国民健康保険特別会計 | 15 |
| | 後期高齢者医療特別会計 | 15 |
| | 介護保険特別会計 | 16 |
| | 介護サービス事業特別会計 | 16 |
| | 農業集落排水事業特別会計 | 17 |
| | 公共下水道事業会計 | 17 |
| | 病院事業会計 | 18 |
| | 水道事業会計 | 19 |
| | 工業用水道事業会計 | 19 |
| V | 事業スクラップにより廃止等を行う事業 | 20 |
| VI | 笠間市の財政状況について | 22 |
| VII | 基金の状況 | 23 |
| VIII | 市債の状況 | 25 |
| IX | 合併特例債の使い道 | 27 |
| X | 公営企業会計の収支 | 28 |

I. 予算の概要

過去最大!!

令和4年度笠間市の予算規模（一般会計、特別会計及び企業会計予算の合計）は564億3,490万7千円であり、前年度と比較すると1,804万6千円（0.03%）の増となっています。

一般会計の6,000万円（0.2%）の増と介護保険特別会計の3億1,900万円（4.3%）の増が主な増要因です。



【令和4年度会計別予算状況】

（単位：千円,%）

| 会計名 | 令和4年度 予算額 | 令和3年度 予算額 | 比較 増減額 | 比較 増減率 |
|--------------|--------------|--------------|-----------|-----------|
| 一般会計 | 32,510,000 | 32,450,000 | 60,000 | 0.2 |
| 特別会計 | 16,722,000 | 16,420,000 | 302,000 | 1.8 |
| 国民健康保険特別会計 | 7,394,000 | 7,480,000 | ▲ 86,000 | ▲ 1.1 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 1,011,000 | 987,000 | 24,000 | 2.4 |
| 介護保険特別会計 | 7,710,000 | 7,391,000 | 319,000 | 4.3 |
| 介護サービス事業特別会計 | 21,000 | 22,000 | ▲ 1,000 | ▲ 4.5 |
| 農業集落排水事業特別会計 | 586,000 | 540,000 | 46,000 | 8.5 |
| 企業会計 | 7,202,907 | 7,546,861 | ▲ 343,954 | ▲ 4.6 |
| 病院事業会計 | 1,066,160 | 1,013,363 | 52,797 | 5.2 |
| 収益的支出 | 986,513 | 966,708 | 19,805 | 2.0 |
| 資本的支出 | 79,647 | 46,655 | 32,992 | 70.7 |
| 水道事業会計 | 2,743,968 | 2,853,082 | ▲ 109,114 | ▲ 3.8 |
| 収益的支出 | 1,655,453 | 1,611,103 | 44,350 | 2.8 |
| 資本的支出 | 1,088,515 | 1,241,979 | ▲ 153,464 | ▲ 12.4 |
| 工業用水道事業会計 | 25,571 | 42,159 | ▲ 16,588 | ▲ 39.3 |
| 収益的支出 | 25,571 | 27,606 | ▲ 2,035 | ▲ 7.4 |
| 資本的支出 | 0 | 14,553 | ▲ 14,553 | 皆減 |
| 公共下水道事業会計 | 3,367,208 | 3,638,257 | ▲ 271,049 | ▲ 7.4 |
| 収益的支出 | 1,749,819 | 1,823,780 | ▲ 73,961 | ▲ 4.1 |
| 資本的支出 | 1,617,389 | 1,814,477 | ▲ 197,088 | ▲ 10.9 |
| 合 計 | 56,434,907 | 56,416,861 | 18,046 | 0.0 |

ー口メモ① 『会計区分』

市町村では、お金の管理を『会計』で区分するんだよ。特定の事業を行う時は、『特別会計』を設置して事務を行うんだ。また、特別会計の中でも独立採算性方式で会計をする場合は、『企業会計』を設置するんだよ。

- 一般会計・・・税を主な収入として、福祉、土木、教育、衛生などの基本的な施策を行う会計
- 特別会計・・・保険料や使用料などの特定収入により、特定の事業を行う会計
- 企業会計・・・特別会計のうち事業収益により、事業運営を行う会計

Ⅱ. 重要事務事業

2022年度は、変異を繰り返すコロナウイルスの影響により、ワクチン接種や経口薬普及が進む中でも臨機応変な対応を図る準備をしていくことが必要となります。

コロナ禍は幅広い範囲に影響と変化をもたらし、国全体として感染症の克服、経済の再生、生活の安定が求められています。このような状況を受けて、多様な人材の育成と確保、デジタル化の推進、脱炭素社会の実現を視点としながら、「住みたくなる空間暮らしの構築」を重点課題として設定し、感染症が拡大しない地域づくりを行いながら、安心して安全な生活環境の構築と地域経済の活性化に向けた取組みの強化を図ってまいります。

○主な重要事務事業

SDGs・・・貧困や不平等、気候変動など、地球全体に関わるあらゆる問題を解決し、持続可能な社会へ変えていくため、2015年国連で定められた17項目の持続可能な開発目標。
笠間市でも今年度の重点プロジェクトにSDGsの考え方を取り入れ、推進を図っていきます。

※表中の事業費については、一部、令和3年度2月補正予算を含んでおります。
なお、事業費については、再掲分を含む事業費となっております。

【 新型コロナウイルス感染症対策 】

新型コロナウイルス感染症
拡大防止対策の推進

新規
拡充



320,139千円

新型コロナウイルス感染症については、ワクチン接種の前倒しによる感染拡大防止対策、感染した療養者や濃厚接触者が、外出せずに療養生活に専念し、早期に社会活動に復帰できるような食料品や日用雑貨、衛生用品などの物資の支援、PCR検査体制の充実、デジタル化や新しい生活様式に対応したイベントの開催など、ウィズコロナ下での社会経済活動の再開に向けた取組みを実施していきます。

<感染症対策の推進>

○新型コロナウイルスワクチン接種事業(237,548千円)【拡充】

○自宅療養者の支援事業(230千円)【拡充】

○PCR検査体制の充実(17,050千円)

○小中学校における感染拡大防止の強化(5,287千円)

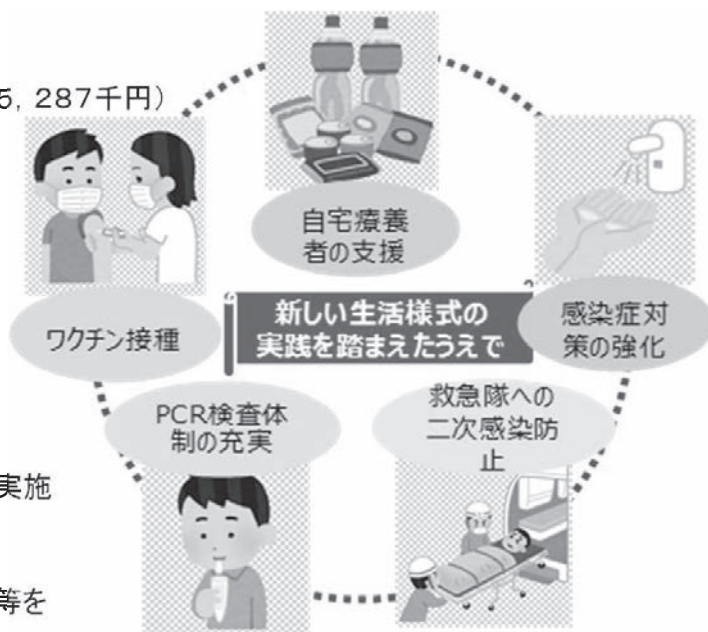
<地域経済対策の推進>

○新しい生活様式に対応したイベント等の開催への支援(6,570千円)【拡充】

○事業者支援と連動した市内農産物の学校給食での提供(10,662千円)

○事業者支援と連動した市内周遊ツアーの実施(7,355千円)【新規】

※その他、各施策の中で事業支援、成長策等を展開していきます。

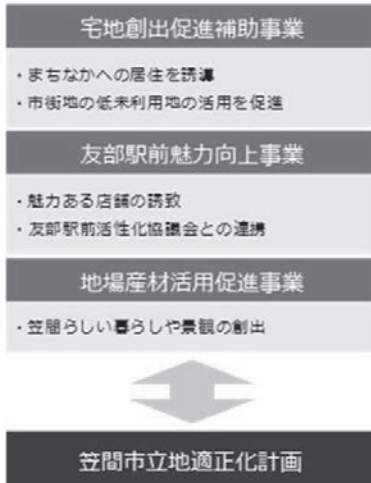


【都市基盤】

魅力ある市街地づくりの促進

新規
拡充

令和2年3月に策定した、「笠間市立地適正化計画」に基づき、まちなかへ居住を誘導するため、新たな支援制度の創設や既存制度の拡充を行います。また、笠間らしい暮らしや景観を創出し、市街地の高質化を図ることで、魅力ある市街地づくりを促進します。



魅力的でにぎわいのあるコンパクトで持続可能なまちづくり住まいづくりを支援

魅力ある市街地づくり

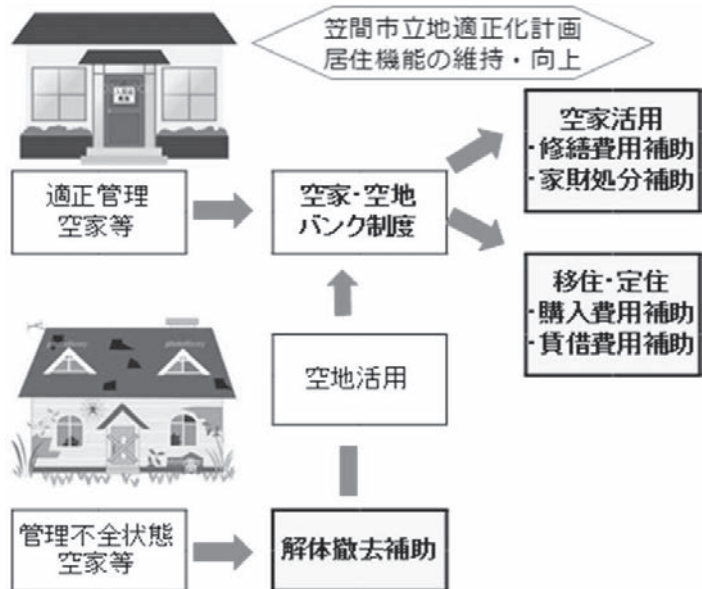


18,800千円

移住等につながる空家・空地利活用の促進

拡充

空家等の利活用及び適正管理の推進、「空家・空地バンク」による移住・定住の推進等に取り組み、地域の活性化や環境保全を図ります。また、空家に関する関連制度等の見直し検討など、空家等の発生抑制対策を進めます。なお、笠間市立地適正化計画の居住誘導区域等における空家に関する補助金を拡充し、居住機能の維持・向上を図ります。

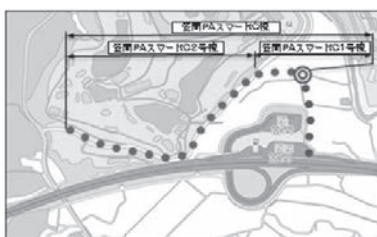


33,639千円

北関東自動車道笠間PAスマートIC整備の促進

拡充

高速道路の利便性の向上、観光・産業を中心とした地域の活性化及び災害・緊急時の対応強化を図るため、笠間PAスマートIC整備事業を促進します。



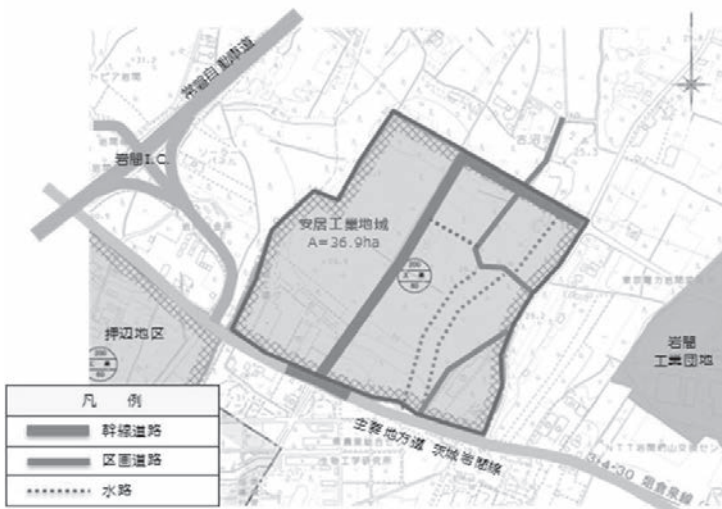
54,585千円



安居工業地域の整備

拡充

茨城中央工業団地(笠間地区)への企業立地が進んでおり、今後の受け皿のひとつとして安居工業地域の土地利用促進を図るため、道路、水路等の基盤整備を推進します。



105,436千円

【生活環境】

消防強靱化計画の推進 (R4~R8)

新規拡充

消防を取り巻く環境の大きな変化に的確に対応するための即応体制の在り方を検討し、令和4年度から令和8年度までを計画期間とした「笠間市消防強靱化計画」を策定しました。本計画を確実に推進し消防体制全体の強化を図ります。

消防強靱化計画の内容

人材育成

現場対応力の向上

就労環境の向上

・消防・救急・予防体制の充実
消防体制の強化、救急体制の強化、予防体制の強化
職員の増員、車両整備計画と適正配置



・消防団の充実
消防団員の処遇改善、消防団のイメージアップ
消防団活動の在り方の検討と団員装備の充実
機能別消防団制度の導入と分団の統合再編



・消防庁舎の建て替え
災害に強い新庁舎、職員の就労環境の改善
庁舎整備計画



330,181千円

地域脱炭素化の推進

新規拡充

デジタル化や歴史・自然の保全との調和のとれた脱炭素社会の実現に向けた啓発と推進を積極的に図るため、令和4年度は、電気の地産地消による自給自足を目指した個人及び公共施設への積極的な再生可能エネルギー導入を中心とした、率先した取組みを実行することで、市民・事業所への取組みにも拡大させていきます。

脱炭素社会の実現に向けて

環境負荷ゼロへの挑戦：ゼロカーボンシティ宣言/プラスチックごみゼロ宣言
【令和3年度までの取り組み】

- ポルトtoポルト水平リサイクル(協定の締結)
- 環境意識の高揚・環境教育の充実
- 分別回収の拡充(資源物回収品目の拡充・回収店舗の拡大)
- 環境サポーター制度の導入
- 事業者間連携(意見・情報交換会の実施等)
- ワンウェイプラスチックの削減

2030年 CO₂排出量46パーセント削減
2050年脱炭素社会の実現

を目指して

【令和4年度に行うこと】



29,858千円

資源循環型地域づくりの促進

新規
拡充

プラスチック使用製品等の分別回収を目指すほか、家庭から排出されるごみの多くを占める生ごみの減量化やその他の資源物回収の拡充を推進し、新ごみ処理施設の計画にも反映させながら資源化率の向上を図ります。



13,815千円



【健康・福祉】

結婚・妊娠・出産期の包括的支援の強化

拡充

若い世代が将来のライフプランを考え、日々の生活や健康と向き合い、さらには、次世代を担う子どもの健康も考えられるようライフステージに応じた継続的な支援を進めていきます。



5,964千円

子育て支援体制の強化

新規
拡充

職員や関係機関に向けたスキルアップ研修や養成研修に積極的に取り組むほか、ひとり親家庭の個々のニーズに応じた就業・生活等の助言を行いながら、自立に向けた支援を実施していきます。



77,666千円

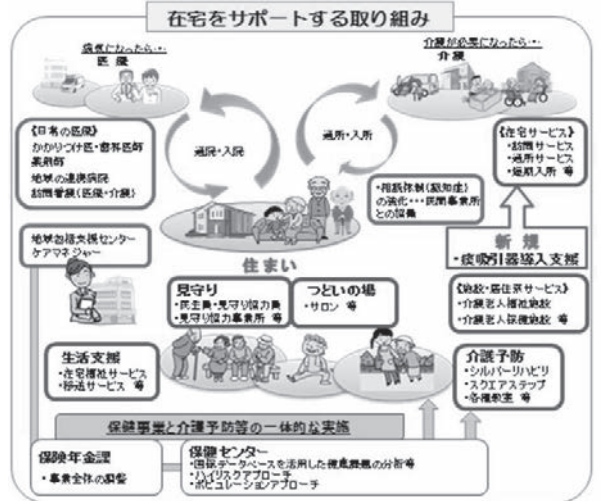
在宅介護サービスの強化と介護予防の推進

新規

高齢者一人ひとりが自主的に介護予防に取り組み、自立した生活を送ることができる体制強化、高齢者とその家族を支援する体制が求められていることから、健康寿命の延伸、早期支援、重度化防止のための事業を推進するとともに、介護が必要になってからの在宅生活の支援を推進します。



195,702千円



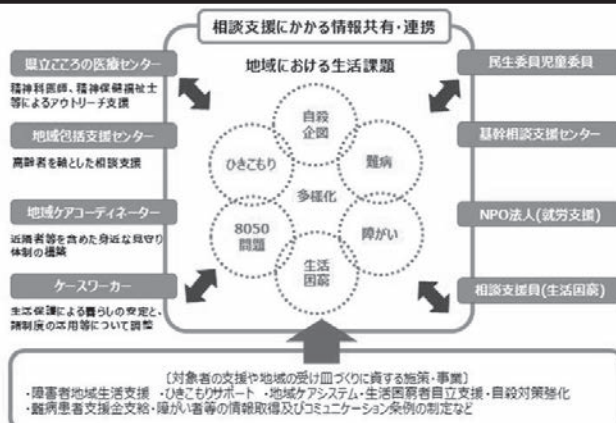
「ひと」を支える支援の充実

新規

複雑化・複合化する地域課題に対応するため、オンライン支援会議の効果的活用など、支援機関・専門職などの連携や協働を進め、支援を必要としている「ひと」を支える仕組みの強化を図ります。



15,118千円



【 産 業 】

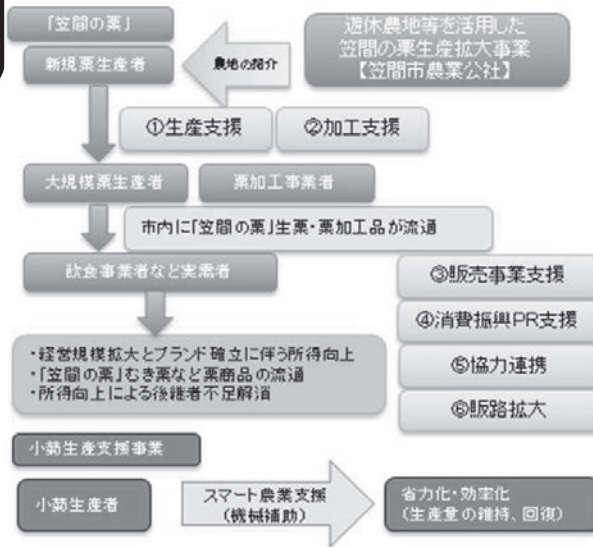
儲かる「笠間の栗」産地づくりの推進・新規
花きブランド力の強化 新規 拡充

「笠間の栗」
「笠間の栗」に関わる全ての方々の所得を向上させ、「笠間の栗」産業を発展させるため生産支援など6つの支援や事業を実施します。

「小菊」
作業の省力化や効率化など新たにスマート農業に取り組むために機械を導入する生産者への支援を実施します。



43,737千円

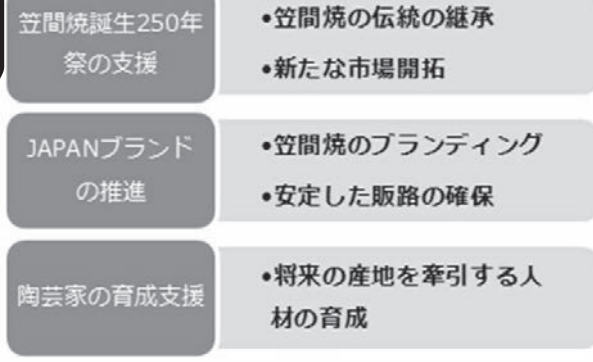


笠間焼の伝承・海外展開の推進 新規

笠間焼の振興については、「伝統と革新の笠間焼プライド」をテーマとして実施する「笠間焼誕生250年祭」を支援していきます。「JAPANブランド推進事業」については、PRや販売の継続により、産地の販路獲得を支援していきます。笠間の陶炎祭は、「新たな生活様式」に対応した開催に向けた支援を行います。



34,792千円



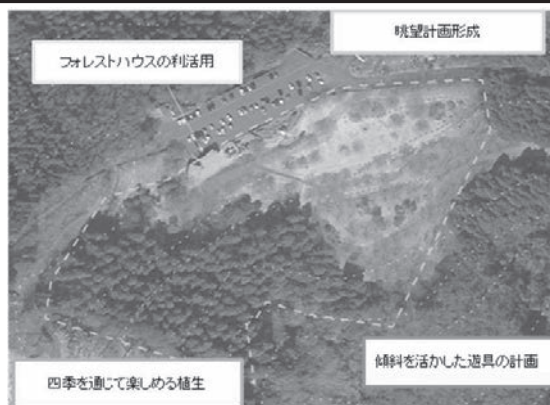
笠間焼の伝承・海外展開の推進

あたご天狗の森公園
リノベーションの推進 拡充

デザインリノベーションを目指し、「あたご天狗の森公園改修基本計画」を策定したことから、基本計画に基づき公園全体の改修にかかる設計を行います。



19,580千円



観光資源の魅力強化 新規

経年劣化、老朽化が著しく進行した観光施設の大規模改修を計画的に進めていきます。今年度は、菊栽培所事務室建築設計、笠間工芸の丘大規模改修設計、つつじ公園山頂トイレ整備工事を実施し、観光資源の魅力の強化を図っていきます。



88,744千円

【 教 育・文 化 】

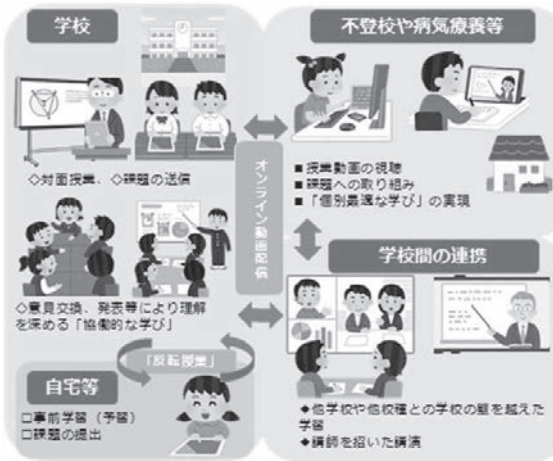
笠間版ハイブリット型教育の推進

拡 充

デジタル化時代に即した次世代を担う子どもたちの育成に対応するため、従来の対面授業に加え、「オンライン授業」、「反転授業」を適切に組み合わせた「笠間版ハイブリット型教育」を推進します。



208,057千円



歴史・芸術・文化資源活用による文化振興と地域活性化の推進

新 規



56,748千円

笠間焼をはじめ日本のみならず世界に誇る伝統工芸、歴史と風土が育んだ文化芸術資源に気軽に親しむ機会の創出を図り、豊かな感性を養うとともにそれらを継承し、郷土を愛する意識の醸成を図っていきます。

日本一の公民館・図書館サービスの充実

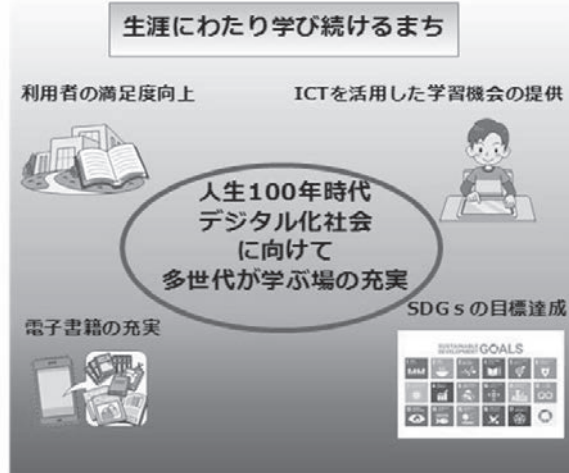
拡 充

笠間公民館は令和3年度文部科学省優良公民館表彰において「最優秀館」に選ばれました。笠間市立公民館では、各講座にSDGsの目標を設定し、市民の誰もが生涯にわたり学ぶことができる機会を提供していきます。

笠間市立図書館は、人口8万人未満の市区の公共図書館のなかで、資料の貸出数が9年連続日本一です。今後も図書館資料や電子書籍の充実を図り、蔵書資料や電子書籍の貸出数で日本一を目指していきます。



125,569千円



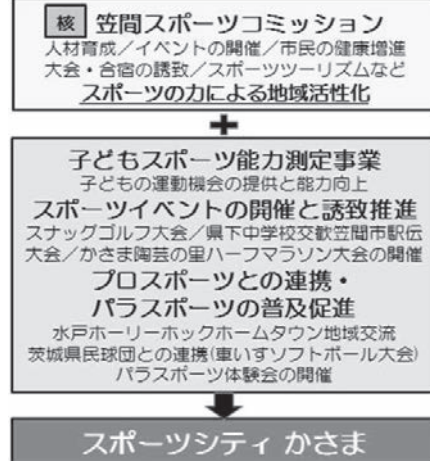
「スポーツシティ かさま」の推進

新 規
拡 充

笠間スポーツコミッションを核とし、スケートボード大会のほか新たな大会の開催、誘致を図り、アーバンスポーツの普及とスポーツを活用した地域経済の活性化に積極的に取り組んでいきます。



34,968千円



【地域づくり】

行政区・地域コミュニティ活動の促進

新規
拡充

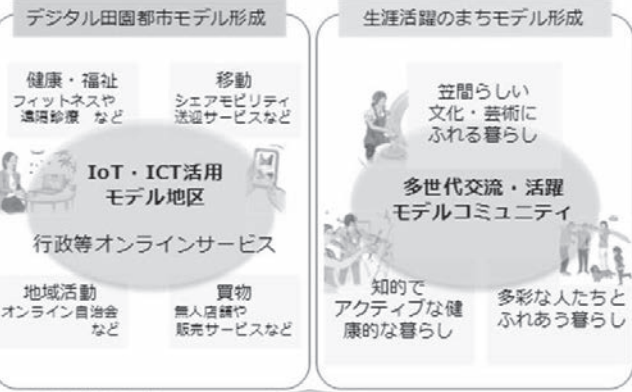


137,720千円

「笠間市行政区への加入及び参加を促進する条例」を制定し、行政区への加入を促進していきます。また、地域コミュニティ活動とあわせ、NPO法人などの市民活動に対する支援や、活動拠点となる地域交流センターの管理運営なども継続的に行っていきます。

笠間版デジタル田園都市構想・生涯活躍のまちモデルの形成

新規
拡充



生涯をとらして活躍できる住環境の創出を図る生涯活躍のまちの形成を継続的に取り組むとともに、デジタル技術の活用により買物や交通など市民生活に密着したサービス向上を図るデジタル田園都市モデルの形成を、スマートシティ形成の取組みと連動して推進します。



41,736千円

スマートシティ（全域）プラットフォーム/データ連携基盤

多様な人材の活躍の場の創出

拡充

笠間市は令和3年10月にいばらきダイバーシティ宣言に登録を行いました。多様な人材が活躍できる社会「ダイバーシティ社会」実現のための取組みを推進するとともに、地域を支える多様な人材の確保を図っていきます。



5,754千円

【自治体運営】

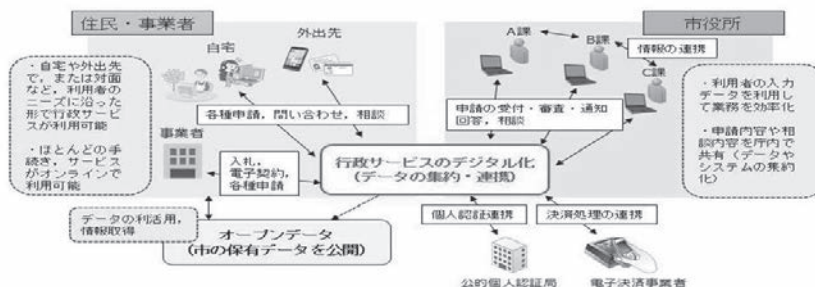
自治体デジタルトランスフォーメーションの推進

新規
拡充



118,730千円

「笠間市デジタルトランスフォーメーション(DX)計画」を推進し、来庁を必要としない便利で効率的な住民サービスに努め、利用者の多様なライフスタイルに寄り添える地域社会の実現を目指します。



Ⅲ. 重要事務事業一覧

表中の事業費については、一部、令和3年度2月補正予算を含んでおります。なお、事業費については、再掲分を含む事業費となっております。

▶ 新型コロナウイルス感染症対策

(単位：千円)

| | 事業名 | 事業費 |
|------------------|---|---------|
| 新規 拡充 | <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の推進 <感染症対策> 【拡充】新型コロナウイルスワクチン接種事業 【拡充】自宅療養者の支援 PCR検査体制の充実 救急隊の感染症対策の強化 地域・施設等での感染症対策の強化 新型コロナ対策関連の広報の実施 新型コロナ生活困窮者自立支援給付 子育て世帯への臨時特別給付 ひとり親世帯への生活支援特別給付 小中学校における感染拡大防止の強化 <経済活動の再開> 新しい生活様式に対応したイベント等の開催への支援（一部再掲） 事業者支援と連動した市内農産物の学校給食での提供 事業者支援（建設業）と連動した住宅リフォームの促進 【新規】事業者支援と連動した市内周遊ツアーの実施（再掲） | 320,139 |

▶ 第1章 都市基盤

(単位：千円)

| | 事業名 | 重点課題 | 事業費 |
|------------------|--|-------|-------------------|
| 新規 拡充 | <input type="checkbox"/> 魅力ある市街地づくりの促進 【新規】まちなか住まいづくりの支援 / 【拡充】友部駅前魅力向上 地場産材による住環境の高質化 | まち | 18,800 |
| 新規 | <input type="checkbox"/> 持続的で効果的なまちづくりの推進 都市計画マスタープランの推進（都市計画道路等の見直し） / 都市計画基礎調査（都市の現況調査）の実施 立地適正化計画の推進 / 景観計画の推進 | | 16,542 |
| | <input type="checkbox"/> 地域公共交通網の再編とスマート化の推進 持続的な公共交通網の再編 / スマートムーブの推進（移動手段の転換によるCO2排出量の削減） スマート化による公共交通の利便性の向上 （デマンドタクシー・スクールバス・観光周遊バス・路線バス支援・シェアサイクル） | まち | 253,985 |
| 拡充 | <input type="checkbox"/> 移住等につながる空家・空地利活用の促進 【拡充】居住誘導区域内での空家・空地の重点支援 / 空家・空地バンク / 管理不全対策 | ひと・まち | 33,639 |
| 拡充 | <input type="checkbox"/> 北関東自動車道笠間PAスマートIC整備の促進 <input type="checkbox"/> 幹線・生活道路の整備（幹線道路整備・狭あい道路解消・維持修繕等） | まち | 54,585 748,652 |
| 拡充 | <input type="checkbox"/> サイクルライフの推進と道路安全対策の推進 【拡充】自転車通行空間の整備拡大 / 交通安全施設の設定 | まち | 23,420 |
| 新規 | <input type="checkbox"/> 拠点機能の強化 【新規】笠間中央公園の魅力向上 / 【新規】ムラサキパークかさまの利便性向上 【新規】岩間駅西口多目的広場（トイレ新設） / 道の駅かさまの魅力向上（子育て支援事業の実施） | まち・もの | 40,854 |
| 拡充 | <input type="checkbox"/> 安居工業地域の整備 | | 105,436 |
| 拡充 | <input type="checkbox"/> 市内インフラ施設（橋梁・水道・下水道）の長寿命化 【拡充】道路橋の長寿命化 / 【拡充】穴戸浄水場の更新整備 / 水道の老朽管改修 / 【拡充】浄化センター更新及び増築 | | 1,198,666 |
| 新規 | <input type="checkbox"/> 水道事業・下水道事業経営の強化 【新規】下水道料金及び公共下水道事業計画の見直し / 包括的業務委託等の推進 | | 166,673 |
| | <input type="checkbox"/> 生活排水の適正処理の推進 公共下水道・農業集落排水の整備及び接続支援 / 合併浄化槽設置補助 | まち | 73,120 |

▶ 第2章 生活環境

(単位：千円)

| | 事業名 | 重点課題 | 事業費 |
|------------------|--|------|---------|
| | <input type="checkbox"/> 複合災害対策の強化 原子力災害に対する避難訓練の実施 / 感染症等を含めた防災体制の整備 / 地域防災力の強化 | | 11,842 |
| 新規 拡充 | <input type="checkbox"/> 消防強化計画の推進 【新規】岩間消防署の整備 / 【新規】消防団の処遇改善と団員確保の推進 / 【拡充】消防団詰所の更新 消防団車両の更新 | | 330,181 |
| | <input type="checkbox"/> 地域防犯体制の強化 行政区への防犯カメラ設置補助 / 行政区への防犯灯設置補助 | まち | 7,102 |

| | | | |
|------------------------|--|----|-----------|
| 新規 | □ 安心して安全な消費生活の確保 【新規】若年層への消費者教育の推進 / 消費生活センターの運営 / 消費者トラブル防止の啓発 | ひと | 12,551 |
| 新規 拡充 | □ 地域脱炭素化の推進 【新規】地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定 / 【新規】住宅用太陽光・蓄電システム設置の支援 【新規】バイオマスプラスチック指定ごみ袋の導入（再掲） / 【新規】公共施設への再生可能エネルギーの導入（再掲） 【拡充】環境保全と運動した脱炭素社会の実現を目指した啓発 / 環境負荷の少ないモビリティ（シェアサイクル）の運営（再掲） CO2吸収源の適正管理（再掲） | まち | 29,858 |
| 新規 拡充 | □ 廃棄物処理体制の強化 【新規】一般廃棄物処理基本計画の改定・処理施設整備調査等の推進 / 【拡充】最終処分場の整備 | | 1,378,599 |
| 新規 拡充 | □ 資源循環型地域づくりの促進 【新規】家庭用生ごみ減量化の支援 / 【拡充】分別収集事業（廃プラ等リサイクルの推進） 【拡充】ごみ集積ボックスの設置 / ごみ処理体制の統一とリサイクルの推進 | | 13,815 |

➤ 第3章 健康・福祉

（単位：千円）

| | 事業名 | 重点課題 | 事業費 |
|------------------------|---|------|---------|
| 拡充 | □ 結婚・妊娠・出産期の包括的支援の強化 【拡充】結婚新生活の支援 / 子育て世代包括支援センターの運営・産前産後ケアの推進 プレコンセプションケアの推進 | ひと | 5,964 |
| 新規 拡充 | □ 子育て支援体制の強化 【新規】支援が必要な家庭等に対する訪問支援 / 【新規】ひとり親家庭の資格取得に係る支援 【新規】子どもを虐待などから守る地域ネットワークの連携強化 / 【新規】医療的ケア看護師の養成 【拡充】子ども家庭総合支援拠点の強化 / 【拡充】放課後児童支援員の処遇改善 / 【拡充】こども育成支援センターの運営 【拡充】在宅子育て支援 / 子育てオンライン相談の実施 | ひと | 77,666 |
| 新規 | □ 子育て世帯の費用負担の軽減 【新規】子どもに係る国民健康保険税均等割額の減免措置（5割） / 医療福祉費支給・自己負担金助成 予防接種費用の助成（インフルエンザ、おたふく、風しん抗体検査など） / 公営住宅活用による子育て世帯向け住宅支援 | ひと | 693,660 |
| 拡充 | □ 保育・幼児教育人材の確保と体制強化 【拡充】保育士の確保と処遇改善（保育補助者等の雇用・就労支援） / 多子世帯への保育料軽減 / 障害児保育 一時預かり保育 / 延長保育 / 病児保育 / 民間こども園への改修負担 | ひと | 410,314 |
| 新規 | □ 在宅介護サービスの強化と介護予防の推進 【新規】在宅介護世帯への痰吸引器導入支援 / 在宅福祉サービスの推進 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業 / 地域での認知症対策の推進 / 介護予防の充実と重度化防止の推進 地域での介護予防活動の支援（シルバーリハビリ・スクエアステップ） / 地域サロンの活動推進 | ひと | 195,702 |
| 新規 拡充 | □ 生活習慣病予防対策の推進 【新規】がん患者への支援 / 【拡充】糖尿病重症化予防（治療中断や未治療者への医療機関受診勧奨などのアプローチ） 対象者に効果的な受診勧奨の推進（各種検診・がん検診・特定健康診査） / 人間ドック等の推進（国民健康保険） | ひと | 171,380 |
| 新規 | □ 「ひと」を支える支援の充実 【新規】聴覚障害者のコミュニケーション支援 / 【新規】NPOと連携した就労準備支援 障がい者・高齢者・生活困窮者等への包括的相談体制の充実 ひきこもりサポート・生活困窮者自立支援の推進 / 多職種・事業実施団体等との連携強化 / 難病患者等の支援 | ひと | 15,118 |

➤ 第4章 産業

（単位：千円）

| | 事業名 | 重点課題 | 事業費 |
|------------------------|---|-------|---------|
| | □ 成長企業の誘致と支援の推進 | もの | 125,784 |
| | □ 創業・就業マッチング支援の強化 人材確保策の支援 / 創業支援 | もの | 6,267 |
| 新規 拡充 | □ 農業生産基盤・担い手確保の強化 【新規】新規就農者の育成支援 【拡充】農業生産に係る農業機械等の導入支援 / 農地集積の推進 土地改良事業の推進 / 農地や農業用施設の適正管理 | もの | 290,242 |
| 新規 拡充 | □ 儲かる「笠間の栗」産地づくりの推進・花きブランド力の強化 【新規】栗の海外向け販路拡大 / 【新規】小菊の生産体制の強化 / 【拡充】栗の生産体制の強化 / 笠間の栗のPR強化 | もの | 43,737 |
| 新規 | □ 森林整備の推進 【新規】森林所有者意向調査の実施 / 森林整備 | もの | 15,641 |
| 新規 | □ 笠間焼の伝承・海外展開の推進 【新規】笠間焼誕生250年祭の支援（バーチャルによるツアーや商店街の展開） JAPANブランド（海外販路開拓）の推進 / 陶芸家の育成支援 / 笠間焼の活用促進（再掲） | もの | 34,792 |
| 新規 | □ 稲田みかげ石産業の技能承継・活用の促進 【新規】石材業技術者の育成支援 / 稲田みかげ石の活用促進（再掲） | もの | 8,930 |
| 新規 拡充 | □ 周遊観光の促進 【新規】市内周遊ツアーの実施 / 【新規】観光振興基本計画の策定 / 【拡充】道の駅がさまの魅力向上 笠間ファン（リピーター）増加向上策の推進（スマートシティ構想の推進） | もの | 50,417 |
| 拡充 | □ あたご天狗の森公園リノベーションの推進 【拡充】あたご天狗の森公園再整備基本計画の推進 | まち・もの | 19,580 |

| | | | |
|-----------|---|-------|--------|
| 新規 | □ 観光資源の魅力強化 【新規】 菊栽培所の体制の強化 / 【新規】 笠間工芸の丘再整備の検討 / つつじ公園の環境整備 | まち・もの | 88,744 |
|-----------|---|-------|--------|

▶ 第5章 教育・文化

(単位：千円)

| | 事業名 | 重点課題 | 事業費 |
|------------------------|---|------|---------|
| 拡充 | □ 笠間版ハイブリット型教育の推進 【拡充】 GIGAスクール構想（1人1台のタブレット端末とICTを活用した教育環境）の推進 英語指導助手の配置 / 算数・数学学力向上支援員の配置 / 教育支援員の配置（教育支援室「ここから」） | ひと | 208,057 |
| 新規 拡充 | □ 学びの環境の充実 【新規】 キャリアコーディネーターの配置 / 【拡充】 学校プールの民間連携の推進 【拡充】 部活動指導員の配置 / 特別支援教育支援員の配置 / スクールソーシャルワーカーの配置 特別支援学級への指導専門員の巡回派遣 / 読み書き障害指導者育成 | ひと | 103,518 |
| 新規 | □ 歴史・芸術・文化資源活用による文化振興と地域活性化の推進 【新規】 大日堂保存活用の推進 / 【新規】 牧野貞喜没後200年記念事業 / 日本遺産推進による活性化 【拡充】 全国子ども絵画コンクールの支援（日動美術館50周年） / 笠間城跡の国指定史跡化の推進 かさま音楽フェスタ〜奏〜 | まち | 56,748 |
| 拡充 | □ 日本一の公民館・図書館サービスの充実 ◎第74回優良公民館表彰「最優秀館」 ◎9年連続「第1位貸出総数図書館」（人口8万人未満の市区） かさま志民大学・かさま子ども大学等の講座の充実 / 【拡充】 電子図書館サービスの推進 公民館施設のICT強化 | ひと | 125,569 |
| 新規 拡充 | □ 「スポーツシティ かさま」の推進 【拡充】 かさまスポーツコミッションの体制強化（地域指導者の育成と子育て支援型のスポーツ教室の開催） 子どものスポーツ能力の向上支援 / スナッグゴルフ等のスポーツイベントの開催と誘致の推進 【新規】 プロスポーツとの連携・パラスポーツ及びアーバンスポーツの普及促進 | ひと | 34,968 |

▶ 第6章 地域づくり

(単位：千円)

| | 事業名 | 重点課題 | 事業費 |
|------------------------|---|-------|---------|
| 新規 拡充 | □ 行政区・地域コミュニティ活動の促進 【新規】 行政区への加入促進 / 【拡充】 地域交流センターの運営 / 市民活動への支援 | ひと・まち | 137,720 |
| 新規 拡充 | □ 笠間版デジタル田園都市構想・生涯活躍のまちモデルの形成 【新規】 笠間版デジタル田園都市構想の推進 / 【拡充】 スマートシティ構想の推進 生涯活躍のまちモデルコミュニティの実装推進 | ひと・まち | 41,736 |
| 拡充 | □ 関係人口・移住戦略の推進 【拡充】 移住・多地域居住の推進及び関係人口増加策の展開 / プロモーションの強化 企業誘致・住宅政策等と連動した移住等の推進（再掲） | ひと | 39,339 |
| 拡充 | □ 多様な人材の活躍の場の創出 【拡充】 ダイバーシティの啓発とPR / ユニバーサルデザインの推進 / 外国人人材の活用推進 外国人相談窓口の設置 / 国際交流への支援 | ひと | 5,754 |

▶ 第7章 自治体運営

(単位：千円)

| | 事業名 | 重点課題 | 事業費 |
|------------------------|---|------|---------|
| 新規 拡充 | □ デジタルトランスフォーメーションの推進 ＜行政手続きのオンライン化推進＞ 【新規・拡充】 各種申請、相談のオンライン化 / 【拡充】 行政サービス予約システムの利用促進 【拡充】 電子図書館の運営（再掲） ＜統合型・公開型GISの整備＞ 【新規】 道路台帳、上下水道台帳、用途地域図などの地図情報のオープンデータ化 ＜デジタル人材の育成＞ 【新規】 市民を対象としたDX人材育成オンライン学習サービスの実施 ＜デジタルディバイド（情報通信技術の利用格差）の解消＞ 【新規】 マイナポイント申請の支援 ＜デジタルによる業務の効率化＞ 【新規】 市議会等のタブレット端末の更新 / 【拡充】 RPAによる業務の効率化 / 【拡充】 テレワーク環境の拡充 【拡充】 マイナンバーカードの普及促進 ＜デジタルを活用した組織コミュニケーションの強化＞ 【新規】 ビジネスチャットの活用 | まち | 118,730 |
| 拡充 | □ 自主財源確保策の強化 【拡充】 ふるさとづくり寄附金・企業版ふるさと納税の活用推進 / 市税等収納対策の強化 | | 120,652 |
| 新規 拡充 | □ シティプロモーションの推進 【新規】 市勢要覧の改定 / 【拡充】 外部記者による魅力発信 | ひと | 7,684 |
| 新規 | □ 行政改革・人材育成の推進 【新規】 職員育成研修や資格取得の推進 / 行財政改革大綱の推進 / 人事管理職員採用力の強化 | | 6,626 |
| 新規 | □ 既存ストックの適正管理と利活用の推進 【新規】 公共建築物への再生可能エネルギー導入検討 既存施設・空きスペース等の利活用の推進 / 未利用公有地の売却と優良空き家等の受入推進 | まち | 715 |
| 新規 | □ 広域連携の強化と公民連携の推進 【新規】 連携中核都市圏事業の推進（29分野連携） / 各種施設における公民連携策の推進 | まち | 5,787 |

IV. 各会計の予算額

～ 令和4年度予算について～

一般会計

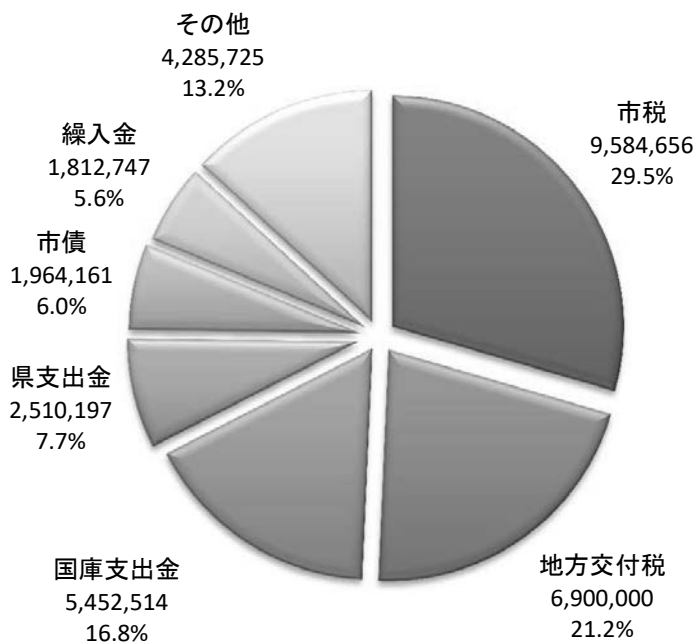
特別会計や企業会計に属さない財政を包括的、一般的に経理する会計です。市税等を財源として、福祉、土木、教育、衛生など多岐にわたり事業を行います。

令和4年度予算は325億1,000万円
前年度比6,000万円増

○歳入予算

歳入とは、いわゆる『収入』のことです。1年間のうちに見込まれる収入が計上されています。笠間市においては、「市税」が約96億円で最も多い割合を占めています。地方交付税は69億円、国庫支出金と県支出金をあわせて約80億円を見込んでいます。

《 歳入予算内訳（千円） 》



| 区 分 | 主 な 内 容 |
|-------------------|-----------------------------|
| 市 税 | 市民税・固定資産税などの税金です。 |
| 地方交付税 | 国で一括徴収した税金を市町村に分配するものです。 |
| 国庫支出金 (国からの歳入) | 国からの補助金・負担金などです。特定の事業に使います。 |
| 県支出金 (県からの歳入) | 県からの補助金・負担金などです。特定の事業に使います。 |
| 市 債 | 事業を進めるために国や金融機関から借り入れるお金です。 |
| 繰 入 金 | 主に基金の取り崩し金です。目的に沿って使います。 |
| そ の 他 | 各種使用料や前年度からの繰越金などです。 |

一口メモ② 『予算って、そもそも何??』

予算は、1年間（4月から翌年の3月まで）の収入と支出の計画を作ることなんだ。どれくらいの収入が入ってきて、どのくらいの行政サービスができるかを計算した計画書みたいなものだよ。

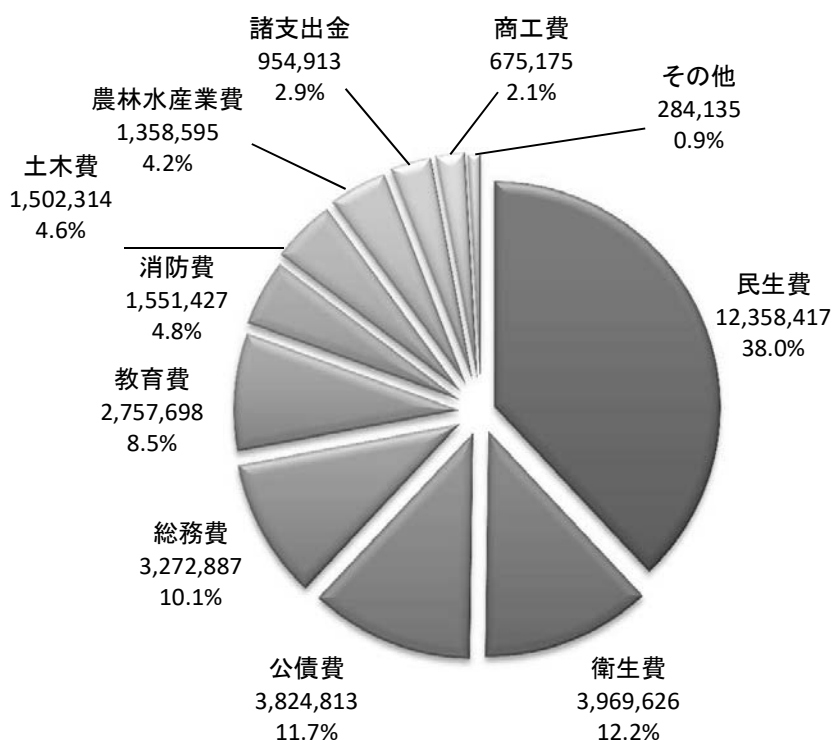
やりたいことを、どんどんやっていって、『気が付いたらお金が無い』なんてことにならないように、事前に計画しているんだ。

だから、予算額以上のお金は使えないようになってるんだよ。

○歳出予算

歳出とは、いわゆる『支出』のことです。1年間のうちに見込まれる支出が計上されています。予算書には、それらがどのような目的に使われるかという『目的別』に区分され、記載されています。これにより、どのような目的にどのくらい事業費がかかる見込みなのかがわかります。

《 歳出予算内訳【目的別】（千円） 》



どんな行政サービスに、どのくらい事業費を見込んでいるのかわかるよ。笠間市は福祉のための事業費（民生費）が一番多いよ。今年度は、保育所等整備交付金、障害者自立支援給付事業費などが増えているよ。



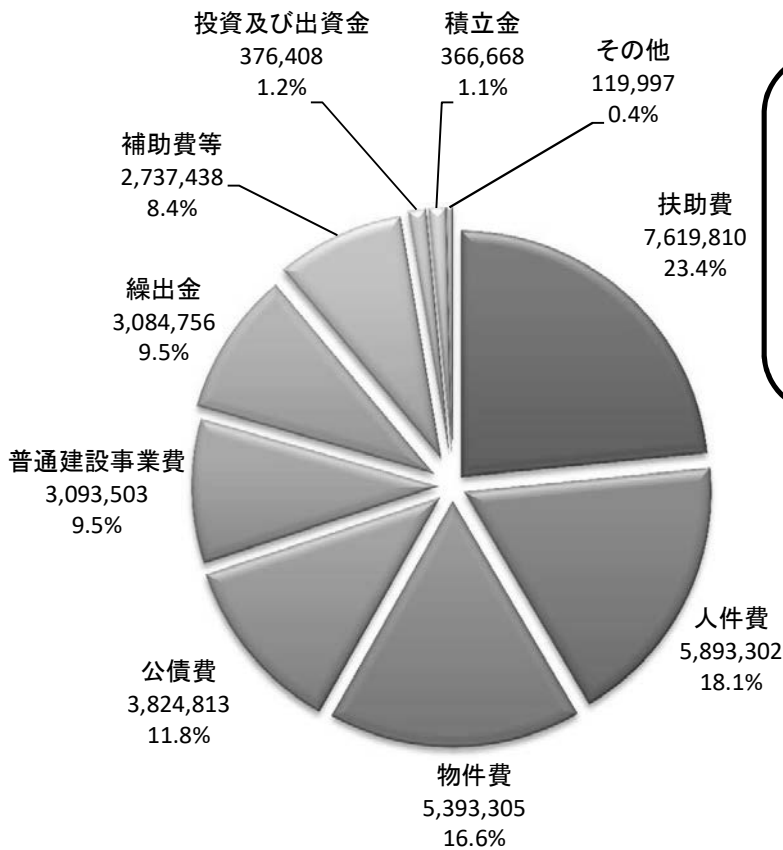
| 区 分 | 主 な 内 容 |
|---------|------------------------------|
| 民 生 費 | 社会福祉，児童福祉，生活保護などの事業費です。 |
| 衛 生 費 | 各種健診・予防接種，環境対策，ごみ収集などの事業費です。 |
| 公 債 費 | 借入金を返済する事業費です。 |
| 総 務 費 | 庁舎の維持管理，広報紙発行，選挙などの事業費です。 |
| 教 育 費 | 学校・図書館などの事業費，スポーツ大会などの事業費です。 |
| 消 防 費 | 火災や台風などの防災活動事業費です。 |
| 土 木 費 | 道路・公園などの整備・管理などの事業費です。 |
| 農林水産業費 | 農業や林業の振興のための事業費です。 |
| 諸 支 出 金 | 病院事業や公共下水道事業等への支出金です。 |
| 商 工 費 | 商工業の振興や観光事業を推進するための事業費です。 |
| そ の 他 | 議会運営費や不測の事態に備えた予備費等です。 |

ー口メモ③ 『予算って、誰が決めているの??』

予算は、市長が案を作って市議会に提出するんだ。そこでいろいろな審議・議論がされて、決定されるんだよ。

ここでは、歳出予算を性質にしたがって区分しています。生活支援や道路整備などの事業を実施するために、どのような性質の費用がかかる見込みなのかがわかります。

《 歳出予算内訳【性質別】（千円） 》



どんな費用を、いくら見込んでいるのかわかるよ。笠間市は福祉などの支援のための経費（扶助費）が1番多いんだ。



| 区 分 | 主 要 内 容 |
|---------|---------------------------------|
| 扶 助 費 | 児童・高齢者・障害者・生活困窮者などへの支援のための費用です。 |
| 人 件 費 | 議員や特別職、会計年度任用職員の報酬、一般職員の給与などです。 |
| 物 件 費 | 委託や備品の購入、消耗品にかかる費用などです。 |
| 公 債 費 | 借入金の返済にかかる費用です。 |
| 普通建設事業費 | 建設工事にかかる費用です。 |
| 繰 出 金 | 他の会計に支出するお金のうち補助費等以外のものです。 |
| 補 助 費 等 | 他の会計や、個人・団体へ支払う補助金や負担金などです。 |
| 投資及び出資金 | 他団体や他会計に支出する出資金などです。 |
| 積 立 金 | 基金などに積み立てるお金です。 |
| そ の 他 | 維持補修費や貸付金、予備費などです。 |

ー口メモ④ 『一度決めた予算は変えないの??』

当初予算で見込んでいない事があった時、例えば災害が起こって予定外の経費がかかる場合は、それに対応した予算に変更するんだ。これを『補正予算』というんだよ。これも当初予算と同じように、市長が案を作って、市議会で決まるんだ。

国民健康保険特別会計

病気やけがをした時に安心して治療を受けられるように、加入者がお互いに助け合う『国民健康保険』制度を運営するための会計です。

職場の健康保険に加入していない方などが世帯ごとに加入します。



令和4年度予算は73億9,400万円
前年度比8,600万円減

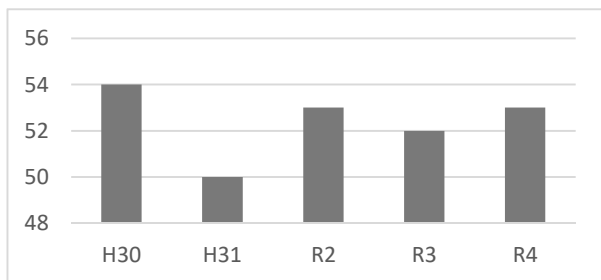
賦課方式が2方式（所得割・均等割）に変更されたことにより、歳入では国民健康保険税が減、歳出では国民健康保険事業費納付金が増となっています。生活習慣病を予防する特定健康診査受診率向上のため、AIを活用した受診勧奨を実施します。



被保険者は約18,000人を見込んでいて、そのうち約5割が前期高齢者（65歳～74歳）になってるよ。
1人当たりの保険給付費は約30万円だよ。

【保険給付費の推移】

（単位：億円）



○主な事業

糖尿病性腎症重症化予防事業

糖尿病の重症化を予防するため、治療中断者や未治療者に対する受診勧奨や通院中の方への保健指導プログラムを行います。

8,422千円

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者（75歳以上）が安心して治療を受けられるように、後期高齢者と若年者とで支える『後期高齢者医療』制度を運営するための会計です。



令和4年度予算は10億1,100万円
前年度比2,400万円増

今年度は、被保険者の増に伴い、保険給付を行っている後期高齢者医療広域連合への納付金を増で見込んでいます。

介護保険特別会計

介護が必要な方を社会全体で支え合う「介護保険制度」や「介護予防事業」を運営するための会計です。
現在、40歳以上の方が加入者となり、要介護者や要支援者等を支えています。

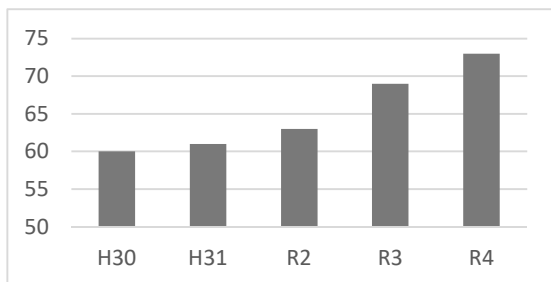


令和4年度予算は77億1,000万円
前年度比3億1,900万円増

今年度は、地域における認知症の支援を目的とした認知症カフェや相談などを実施します。
また、高齢者が元気で健やかに年齢を重ねられるよう、地域の様々な専門職と連携しながら、介護予防や介護の重度化予防を意識した取組みを継続します。

介護保険のサービスを利用するには、まず要介護（要支援）認定の申請が必要なんだ。
今年度の認定者は、約4,000人を見込んでいるよ。
1人当たりの給付費は約181万円なんだ。

【保険給付費の推移】 (単位：億円)



○主な事業（保険給付費以外）

訪問・通所サービス事業

要支援の方及び介護予防・生活支援サービス事業対象者が利用できる総合事業のサービスを実施します。（ふれあいサポート事業、いきいき通所事業、ふれあいサロン事業、元気すこやか教室事業）

151,572千円

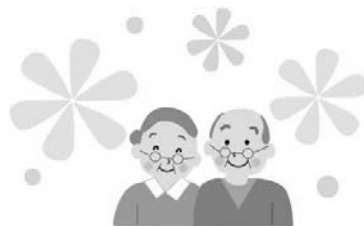
日常生活支援サービス基盤整備事業

各地区に生活支援コーディネーター（地域支えあい推進員）を配置し、関係者間の情報共有、地域の支援ニーズとサービスのマッチングを行い、地域づくりを推進していきます。

13,941千円

介護サービス事業特別会計

予防給付や介護予防・日常生活支援総合事業利用のための計画書（ケアプラン）を作成し、介護予防と自立支援のためのサービス調整を行います。計画書作成費を主な収入としています。



令和4年度予算は2,100万円
前年度比100万円減

今年度は、計画書作成件数を3,912件で見込んでいます。

農業集落排水事業特別会計

台所やトイレなどで流した生活排水をきれいにする農業集落排水事業を運営するための会計です。

公共下水道と同じく、使用料などを財源に施設の運営管理や下水道の整備などを行います。

農村地帯の数集落を1単位として、下水道施設の整備・管理をしています。



令和4年度予算は5億8,600万円
前年度比4,600万円増

今年度は、市原地区の管路施設更新工事などの整備事業費の増により、予算が増額となっています。

公共下水道事業会計

台所やトイレなどから流した生活排水をきれいにする公共下水道事業を運営するための会計です。

下水道使用料などを財源に、施設の運営管理や下水道の整備、老朽化した施設の修繕や機器等の更新を行います。

市街地を中心とした区域の下水道施設の整備・管理をしています。



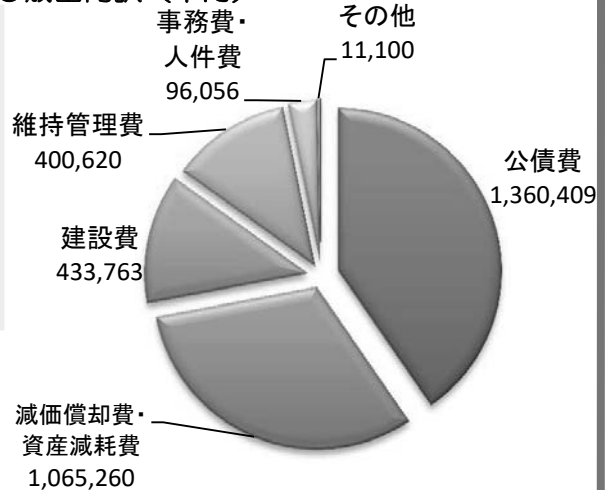
令和4年度支出予算は33億6,720万8千円
前年度比2億7,104万9千円減

今年度は、管路施設の新設整備及び管路更新に係る工事費の減により、予算が減額となっています。

その他、不明水対策のため、管路のカメラ調査等を行います。

また、ストックマネジメント計画に基づく汚水処理施設及び汚泥脱水機の更新工事を行います。

○歳出内訳 (千円)



○主な事業

下水道全体計画改定業務

これまでの認可区域内の整備が進んだことから、全体計画もより効率的な計画を見直すことが必要となり、生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を図るため、下水道全体計画を改定します。

18,216千円



公営企業会計の「発生主義」の考え方のもと減価償却費等を計上しています。公債費とともに大きな割合を占めているよ。

病院事業会計

笠間市における公衆衛生の向上及び増進に寄与し、地域医療を確保するために設置された市立病院を運営するための会計です。

入院外来診療収益等によって病院事業費用をまかなう『収益的収支』と一般会計からの出資金等によって医療機器の購入費用をまかなう『資本的収支』とに分けて会計処理をしています。

令和4年度支出予算は10億6,616万円
前年度比5,279万7千円増

地域医療センターかさまは、笠間市立病院、訪問看護ステーションかさま及びケアプランセンターかさまに加えて、①保健センター、②地域包括支援センター、③病児保育室が併設されています。

市立病院は、積極的に在宅医療を推進しているよ！

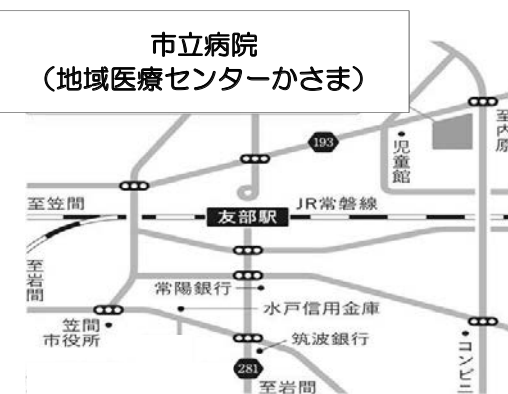


○主な事業

在宅医療の推進

訪問診療・訪問看護・訪問リハビリを強化することで、住み慣れた自宅で安心して生活しながら医療を受けることが出来るように在宅医療を推進していきます。

○位置図



○外来診療のご案内

| 診療科目 | | 受付時間 | |
|------|---------|-----------|-------------|
| 内科 | 月曜日～金曜日 | 午前 | 8:30～11:00 |
| | | 午後 | 13:00～16:00 |
| 皮膚科 | 火曜日・木曜日 | 火曜日：午前・午後 | |
| | | 木曜日：午前中のみ | |

- * 祝日、年末年始は休診となります。
- * 初期救急診療として、平日夜間・日曜診療を行っています。



地域医療センターかさま

* お問い合わせ 笠間市立病院 0296-77-0034

水道事業会計

安心安全な水道水を家庭に供給する水道事業を運営するための会計です。

水道料金によって水の供給にかかる費用をまかなう『収益的収支』と企業債などによって建設費用をまかなう『資本的収支』とに分けて会計処理をしています。



令和4年度支出予算は27億4,396万8千円
前年度比1億911万4千円減

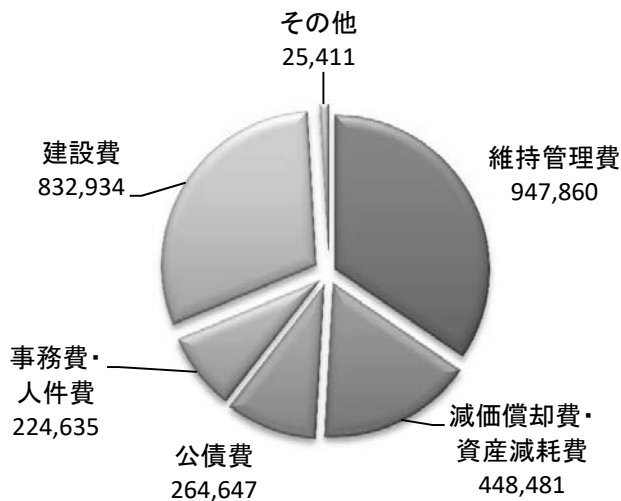
今年度は、穴戸浄水場の更新にかかる費用の減額により、予算額が減額となっています。

また、今年度についても、老朽管更新工事を実施します。

○令和4年度業務予定量

| | | |
|---------|--------------------------|------------|
| 給水件数 | 26,673 件 | |
| 年間総給水量 | 6,564,340 m ³ | |
| 一日平均給水量 | 17,984 m ³ | |
| 建設改良事業 | 事務費 | 7,558 千円 |
| | 施設改良費 | 832,934 千円 |

○歳出内訳（千円）



年間給水量は、約660万m³。
東京ドーム約5.3個分もあるんだよ。



○主な事業

穴戸浄水場整備事業

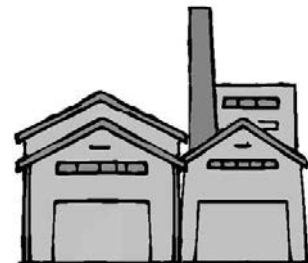
新たに策定した水道事業第2次基本計画に基づき、老朽化した穴戸浄水場を更新するための更新工事を実施していきます。

569,000千円

工業用水道事業会計

岩間工業団地へ工業用水を供給する工業用水道事業を運営するための会計です。

水道事業会計と同じように、『収益的収支』と『資本的収支』とに分けて会計処理をしています。



令和4年度支出予算は2,557万1千円
前年度比1,658万8千円減

今年度は、昨年度実施した取水施設改修に伴う費用が皆減したため、予算額が減額となっています。

○令和4年度業務予定量

| | |
|---------|------------------------|
| 給水件数 | 4 件 |
| 年間総給水量 | 152,687 m ³ |
| 一日平均給水量 | 418 m ³ |

V.事業スクラップにより廃止等を行う事業

事業の必要性や効率性を検証し、第3次笠間市行財政改革大綱の基本方針に示す「効率的な行政運営」を実現するため、事務事業の廃止・見直し等（事業スクラップ）を推進しました。

(1)スクラップ事業の件数

57件（廃止（一部廃止含む）：10件、縮小：16件、統合：8件、改善：23件）

(2)効果額（R4当初予算額とR3当初予算額の差）

▲251,929千円（廃止、縮小、統合、改善の一部）

(3)スクラップ事業（一部抜粋）

（単位：千円）

| No. | 事務事業名 | 内容 | | 効果額 |
|-----|------------------|---|------|----------|
| 1 | タブレット管理事業（行政） | 本所の無線LAN整備に伴い、タブレット通信費を削減する。 | 改善 | ▲ 1,600 |
| 2 | 定住化促進事業 | 移住に関する情報を市のHPやSNSで効果的に発信するため、都内で開催する「全国移住・交流&地域おこしフェア」参加事業を廃止する。 | 一部廃止 | ▲ 110 |
| 3 | 文書管理事務 | 令和2年度に文書管理システムを導入し、今後、一層のペーパーレス化を推進するため、廃止とする。 | 廃止 | ▲ 567 |
| 4 | 防災無線管理事業（本所） | 平成24年度に整備した防災行政無線ネットワークシステムの一部（市内12か所の遠隔制御装置、IP電話、テレビ会議システム）について、活用頻度が非常に低いことから、デジタル化整備に合わせて縮小する（遠隔制御装置→3か所、IP電話→廃止、テレビ会議システム→他システム）。 | 縮小 | ▲ 419 |
| 5 | 英語教育プログラム交流推進事業 | 保育園児が対象の「英語あそび」は、AET等を活用して事業が可能であるため、廃止とする。 | 廃止 | ▲ 3,393 |
| 6 | 笠間地区塵芥処理事業 | 令和4年4月1日から笠間地区における、持ち込みごみの塵芥処理を笠間市環境センターへ統合し、経費削減及び事業の効率化を図る。 | 統合 | ▲ 88,000 |
| 7 | 介護予防普及啓発事業（講演会費） | 不特定多数を対象とした大規模な講演会を行わず、様々な機会をとらえた啓発を図るため、廃止とする。 | 廃止 | ▲ 29 |
| 8 | 健康増進事業 | 健康都市連合について、加盟から10年が経過し各種保健事業を推進する等、当初の目的を達成したため脱退する。 | 縮小 | ▲ 75 |
| 9 | 地場農産物振興拡大事業 | 利用実績から、GAP認証拡大推進事業補助金を廃止とする。 | 一部廃止 | ▲ 170 |
| 10 | 笠間のまつり事業 | 令和3年度笠間のまつりを30回の節目でファイナルとしたため、廃止とする。 | 廃止 | ▲ 7,290 |

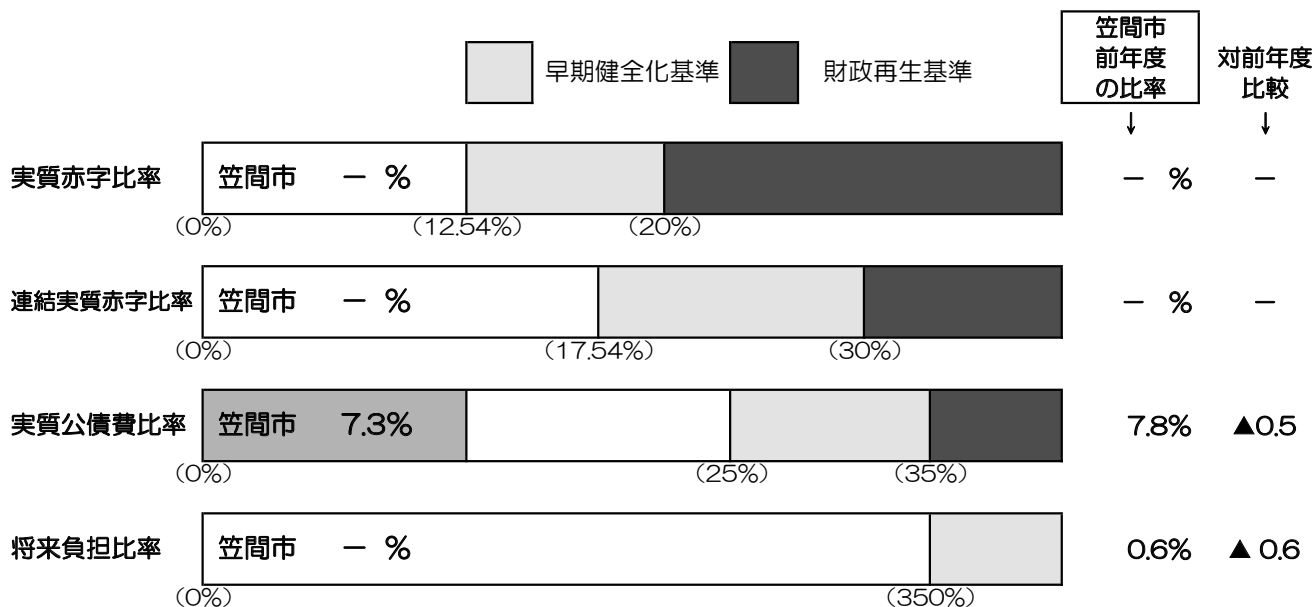
| No. | 事務事業名 | 内容 | | 効果額 |
|-----|---------------------|--|----|-----------|
| 11 | 駐車場管理事業 | 笠間市観光駐車場として借用している市営荒町駐車場用地を令和4年3月31日をもって返還する。 | 縮小 | ▲ 1,666 |
| 12 | 多目的広場整備事業 (土木費) | 整備が完了し、令和3年10月1日に「笠間中央公園」として開園した。 今後は、公園の魅力や利便性の向上を図るため、適切な管理に努める。 | 縮小 | ▲ 120,715 |
| 13 | 木造住宅耐震化推進事業 | 耐震診断士派遣事業は、令和2年度及び3年度の実績に応じて、事業規模（予定件数）を縮小する。 令和3年度から新たに耐震改修総合支援補助を導入したが、申請がない場合は、令和4年度に当事業のスクラップを検討する。 | 縮小 | ▲ 357 |
| 14 | 被災住宅復興支援利子補給補助金交付事業 | 新規受付は、令和元年度に終了しているため、補助期間（1件につき5年）経過により年々事業規模が縮小しており、令和6年度末をもって事業完了予定である。 | 縮小 | ▲ 163 |
| 15 | 景観計画推進事業 | 情報収集の一環として加入した関東地方都市美協議会は、近年の書面開催や加入市町村の退会等により、有効な情報交換ができないことから、令和3年度をもって退会する。 | 縮小 | ▲ 21 |
| 16 | 地区公民館施設管理事業 | 令和3年10月1日付けで12館のうち11館を地域交流センターに用途変更して、市民活動課に移管したため。 | 縮小 | ▲ 6,754 |
| 17 | 地区公民館運営事業 | 令和3年10月1日付けで12館のうち11館を地域交流センターに用途変更して、市民活動課に移管したため。 | 縮小 | ▲ 2,569 |
| 18 | 地区公民館施設整備事業 | 令和3年10月1日付けで12館のうち11館を地域交流センターに用途変更して、市民活動課に移管したため。 | 縮小 | ▲ 10,867 |
| 19 | 笠間図書館サービス事業 | ・土日祝日の開館時間の短縮 17時以降の利用状況や電子図書館の導入などにより、閉館時間を18時から17時に変更する。 ・日経テレコン21の廃止 インターネット検索の普及や利用状況を勘案して、廃止とする。 | 縮小 | ▲ 159 |
| 20 | スポーツ国際交流推進事業 | 東京オリンピックの終了に伴い、スポーツ国際交流員は今後雇用しないこととしたため、廃止とする。 | 廃止 | ▲ 2,150 |
| 21 | 東京2020ホストタウン推進事業 | 東京オリンピックは終了したが、規模を縮小してホストタウン相手国との交流を継続する。 | 縮小 | ▲ 955 |
| 22 | 農業委員報酬等 | 優良農地の集積・集約が進んだことから、農地利用最適化推進委員の定数を26名から13名に縮小した。 | 縮小 | ▲ 3,900 |

VI. 笠間市の財政状況について

財政健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（以下「財政健全化法」という。）」では、「**早期健全化基準**」と「**財政再生基準**」の2段階の基準で財政悪化をチェックするとともに、特別会計等も合わせた連結決算により、地方公共団体の財政状況をより明らかにしています。

令和2年度決算における財政健全化法による4つの指標とは以下のとおりです。
 なお、笠間市の財政状況において、すべての比率で基準を下回っています。



財政の健全度を判断するには、以下の4つの指標で判断します。

(1) 実質赤字比率

普通会計（一般会計）の赤字の程度を指標化し、財政経営の悪化の度合いを示すものです。

(2) 連結実質赤字比率

全会計（一般会計＋特別会計等）の赤字や黒字を合算し、笠間市全体としての財政経営の悪化の度合いを示すものです。

特別会計等とは、国民健康保険、介護保険、農業集落排水事業、病院事業、水道事業、公共下水道事業など。

(3) 実質公債費比率（3カ年平均）

借入金（地方債）の返済額及びこれに準ずる額の大きさを指標化し、借入金の返済による財政負担の程度を示すものです。（全会計＋笠間地方広域事務組合などの一部事務組合等が対象）

(4) 将来負担比率

一般会計等の借入金や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。（全会計＋一部事務組合＋第三セクター等が対象）

* 早期健全化基準：この基準以上となった場合は、財政健全化計画を議会の議決を経て定め、速やかに公表するとともに、総務大臣・県知事への報告、また、毎年度その実施状況の議会への報告、公表が必要となります。

* 財政再生基準：この基準以上となった場合は、財政再生計画を議会の議決を経て定め、速やかに公表するとともに、総務大臣の同意を得ている場合でなければ、災害復旧事業等を除き地方債の借り入れができなくなります。

Ⅶ. 基金の状況

令和4年度末現在高見込額は約161億7,300万円
前年度比約14億8,000万円減

基金とは家計で例えると預貯金のようなものです。定めた目的のために、取り崩して（繰り入れて）使用することができます。

令和4年度は、一般会計の基金繰入金が約18億1,000万円となり、前年度当初の一般会計の基金繰入金と比べて約1億7,200万円の増となっています。地方創生拠点整備基金の繰入金が皆減となった一方で、企業立地促進基金、減債基金の繰入金が増となったため取崩予定額が増加しました。

また、元気かさま応援基金の積立金の増等により、一般会計の積立予定額は約3億6,700万円となり、前年度当初の一般会計の積立予定額と比べて約1億1,000万円の増となっています。

○基金状況一覧

(単位：百万円)

| 会計区分 | 令和3年度末 現在高見込額 | 令和4年度 | | 令和4年度末 現在高見込額 |
|--------------------|------------------|-------|-------|------------------|
| | | 取崩予定額 | 積立予定額 | |
| 一般会計 | 14,284 | 1,810 | 367 | 12,841 |
| 財政調整基金 | 6,920 | 440 | 0 | 6,480 |
| 減債基金 | 1,622 | 634 | 0 | 988 |
| 特定目的基金 | 5,742 | 736 | 367 | 5,373 |
| 土地開発基金 | 1,485 | 0 | 1 | 1,486 |
| 特別会計 | 1,884 | 38 | 0 | 1,846 |
| 国民健康保険 財政調整基金 | 1,091 | 0 | 0 | 1,091 |
| 介護給付費準備基金 | 793 | 38 | 0 | 755 |
| 農業集落排水事業 市債償還基金 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 17,653 | 1,848 | 368 | 16,173 |

| | |
|--------|---|
| 財政調整基金 | 年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てる基金 |
| 減債基金 | 地方債の償還を年度を越えて計画的に行うために設けられた基金 |
| 特定目的基金 | 各種事業などの特定の目的のために設置された基金 (目的ごとに別々に設置) |
| 土地開発基金 | 事業の円滑な執行を図るため、公共の用に供する土地などを取得するために設けられた基金 |

元氣かさま 応援基金 (ふるさと納税積立)

元氣かさま応援基金は、笠間市を応援して下さる方々からの「ふるさと納税」を積み立てて、寄附の目的に沿った事業の財源として活用しています。

令和3年度に納めていただいたふるさと納税は、令和4年度の下記の事業に活用させていただく予定となっています。

○元氣かさま応援基金活用事業一覧

(単位：千円)

| 事業の区分 | | 充当事業名 | 活用金額 | 担当課 |
|-----------|---------|-------------------|---------|-------------|
| まちづくり支援事業 | 地域活性化支援 | 市民活動助成事業 | 2,327 | 市民活動課 |
| | | 地域集会所建設（増改築）事業 | 1,511 | 市民活動課 |
| | | まちなか犯罪抑止事業 | 2,796 | 市民活動課 |
| | | 商店街活性化事業 | 11,203 | 商工課 |
| | 国際交流支援 | 国際交流事業 | 609 | 市民活動課 |
| | | 国際化戦略事業 | 6,851 | 観光課 |
| 子ども支援事業 | 子育て支援 | 子ども総合相談支援事業 | 10,996 | こども育成支援センター |
| | | 子ども総合育成支援事業 | 24,141 | こども育成支援センター |
| | | 地域子育て支援拠点事業 | 3,457 | 子ども福祉課 |
| | | 保育士就労支援事業 | 2,000 | 子ども福祉課 |
| | | 在宅子育て支援事業 | 1,075 | 子ども福祉課 |
| | | 子育て世代包括支援センター事業 | 638 | 健康増進課 |
| | 医療支援 | 地域医療センターかさま病児保育事業 | 6,357 | 子ども福祉課 |
| | | 予防接種事業 | 24,067 | 健康増進課 |
| 芸術文化支援事業 | 芸術支援 | 全国こども陶芸展推進事業 | 6,120 | 生涯学習課 |
| | | 芸術鑑賞事業 | 1,200 | 生涯学習課 |
| | 文化支援 | 筑波海軍航空隊展示運営事業 | 5,601 | 生涯学習課 |
| | | 笠間城跡保存整備調査事業 | 4,311 | 生涯学習課 |
| | | 牧野貞喜没後200年記念事業 | 1,741 | 生涯学習課 |
| 合 計 | | | 117,001 | |

※なお、「感染症対策事業」へのふるさと納税につきましては、新型コロナウイルス感染症対策基金に積み立て、感染症対策事業に活用させていただいております。

○ふるさと納税

ふるさと納税は、笠間市のまちづくりへの共感やふるさとへの思いを抱く人々の、まちづくりへの参加手法として、自治体へ寄附できる制度です。お寄せいただいた思いと寄附金は、各事業に大切に活用させていただきます。

皆様からの温かい応援をお待ちしています。

主な返礼品



笠間の栗



メンチカツ



公式HPはこちら→

Ⅷ. 市債の状況

令和4年度の借入予定額は約31億8,600万円
 令和4年度末現在高見込額は約519億9,900万円

『市債』とは、市が金融機関等から借り入れるお金のことです。事業を実施する資金として借り入れ、後年度に返済（償還）していきます。

令和4年度は、借入予定額が約31億8,600万円となり、前年度当初借入予定額に比べて約22億9,600万円減っています。一般会計において道の駅整備事業等に活用した合併特例債、防災行政無線デジタル化事業等に活用した緊急防災・減災事業債、普通交付税の代替措置である臨時財政対策債がそれぞれ減となるため借入予定額が減となりました。

○市債状況一覧

(単位：百万円)

| 会計・市債区分 | 令和3年度末 現在高見込額 | 令和4年度 | | 令和4年度末 現在高見込額 |
|------------------|------------------|-------|---------|------------------|
| | | 借入予定額 | 元金償還予定額 | |
| 一般会計 | 32,588 | 1,964 | 3,728 | 30,824 |
| 合併特例債 | 13,891 | 1,516 | 1,718 | 13,689 |
| 臨時財政対策債 | 15,115 | 423 | 1,286 | 14,252 |
| その他 | 3,582 | 25 | 724 | 2,883 |
| 農業集落排水事業 特別会計 | 3,668 | 62 | 250 | 3,480 |
| 病院事業会計 | 970 | 20 | 37 | 953 |
| 水道事業会計 | 2,823 | 620 | 219 | 3,224 |
| 公共下水道事業会計 | 14,182 | 520 | 1,184 | 13,518 |
| 合 計 | 54,231 | 3,186 | 5,418 | 51,999 |

| | |
|------------|--|
| 合併特例債 | 合併した市町村が実施する、建設計画に基づいたまちづくり事業のために借り入れるもの |
| 緊急防災・減災事業債 | 緊急に実施する必要性が高く、即効性のある防災・減災事業のために借り入れるもの |
| 臨時財政対策債 | 普通交付税の代替措置として借り入れるもの |

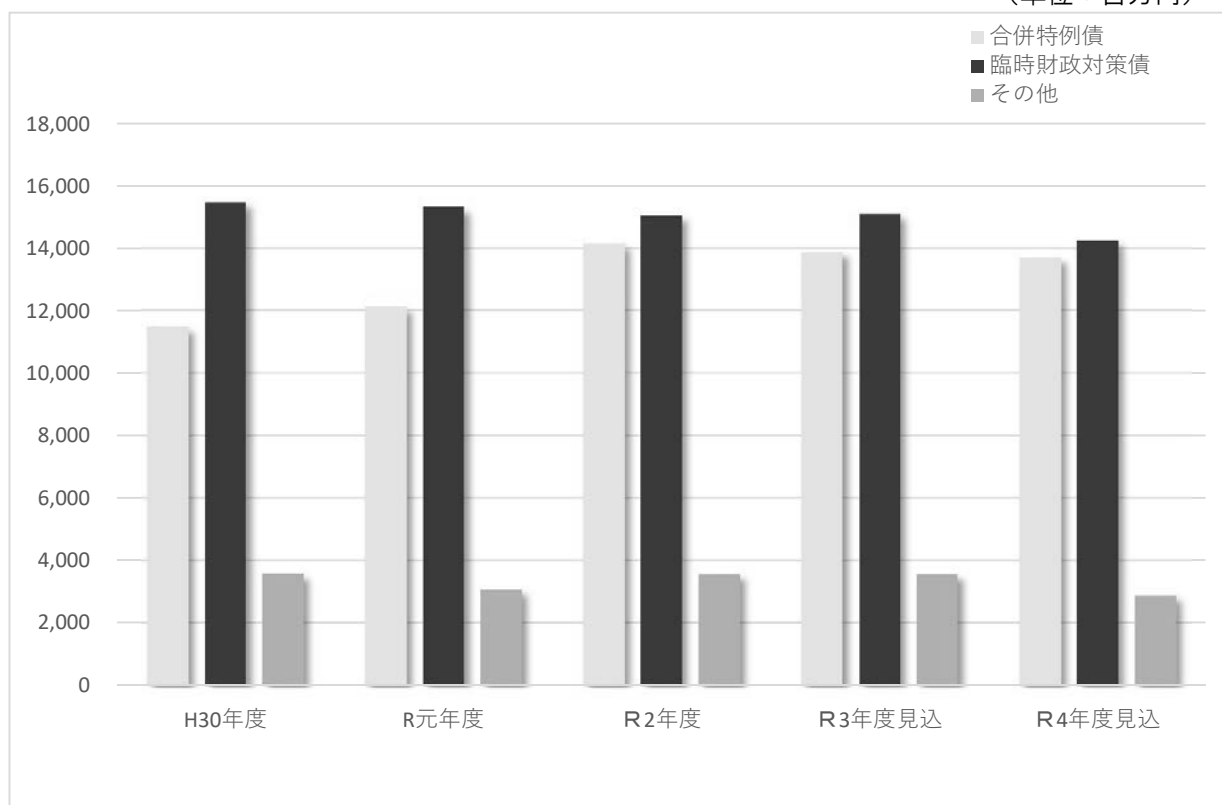
○年度末市債現在高推移表

一般会計の令和4年度末の市債現在高見込額は、前年度末と比較すると約17億6,300万円の減となっています。減少の主な要因は、合併特例債、臨時財政対策債等の元金償還予定額が借入予定額を上回っているためです。特別会計・企業会計の令和4年度末の市債現在高見込額も一般会計と同様に減となっています。

毎年の借入れについては将来の財政運営を十分に見通したうえで、地方債の活用を慎重に検討していくことが大切です。

【市債の現在高推移（一般会計）】

（単位：百万円）



ーロメモ⑤ 『 どうしてお金を借りているの?? 』

今年度は約32億円を借り入れて、事業を実施するための資金にする予定になっているんだ。「借金をしないと事業ができないなら、事業自体を見直したほうが良いのではないか??」と思う人がいるかもしれないけれど、実は、資金が不足するから借り入れているだけじゃないんだよ。

もし、消防庁舎や幹線道路を整備する時にお金を借りなかったら、今年度の税金で全ての経費をまかなわなければならないんだ。でも、たまたまその施設を整備をした年だけ住んでいた人がいたとしたら、施設を利用しないのに自分の税金が使われているようで、なんだか不合理な気がするよね。

そこで、お金を借り入れて整備して、借金を毎年返済することで、将来にわたっての利用者も経費を負担するかたちになっているんだ。



Ⅸ. 合併特例債の使い道

合併特例債とは、合併した市町村が新しいまちづくりのため、新市建設計画に基づき実施する事業のうち、特に必要と認められる事業に対する財源として、借り入れることができる地方債（借入金）のことをいいます。

合併特例債は、対象事業費のおよそ95%まで借り入れることができ、また、将来支払う返済金の70%が普通交付税によって措置されるという、他の地方債に比べて非常に有利な財源となっています。

笠間市は、令和4年度までに、268億2,670万円（まちづくり振興基金を除くと251億3,570万円）の借入れを予定しています。合併特例債（建設事業）には、借入可能上限額が定められていて、笠間市は約322億円（まちづくり振興基金積立分は含まない）が上限となっており、発行可能残額は約70億円です。

【令和3年度までの借入予定金額と主な活用事業】

道路整備事業 59億9,110万円

主な事業

- 1級12号線
（岩間支所～畜産試験場跡地）
- 上町大沢線
- 南友部平町線
- 来栖本戸線
- 笠間小原線（桂町工区）

都市整備事業 40億4,480万円

主な事業

- 岩間駅周辺整備
- 岩間駅東大通線延伸部
- 笠間稲荷門前通り
- 友部駅周辺整備（地区道路）
- 多目的広場整備事業
- スケートパーク整備

学校施設等整備事業 49億4,400万円

主な事業

- 笠間学校給食センター建設
- 笠間中学校武道場整備
- 小・中学校校舎エアコン設置
- 友部第二中学校校舎整備
- みなみ学園義務教育学校整備

その他 103億3,100万円

主な事業

- まちづくり振興基金積立
- 地域交流センター整備
- 地域医療センターかさま建設
- 市民センターいわま整備
- 道の駅整備事業

【令和4年度の借入予定金額と主な活用事業】

令和4年度借入予定金額 15億1,580万円

主な事業

- 最終処分場整備事業
- 幹線道路整備事業
- 安居工業地域整備事業
- 岩間消防署整備事業



ー〇メモ◎ 合併特例債の活用

合併特例債の活用は、合併初年度を含む10ヵ年度（笠間市では平成27年度まで）に限られていたけど、東日本大震災によって被災した特定被災区域は、期限を延長することができるようになったんだよ。

笠間市も財政上有利な合併特例債を活用するため、令和7年度まで延長したよ。

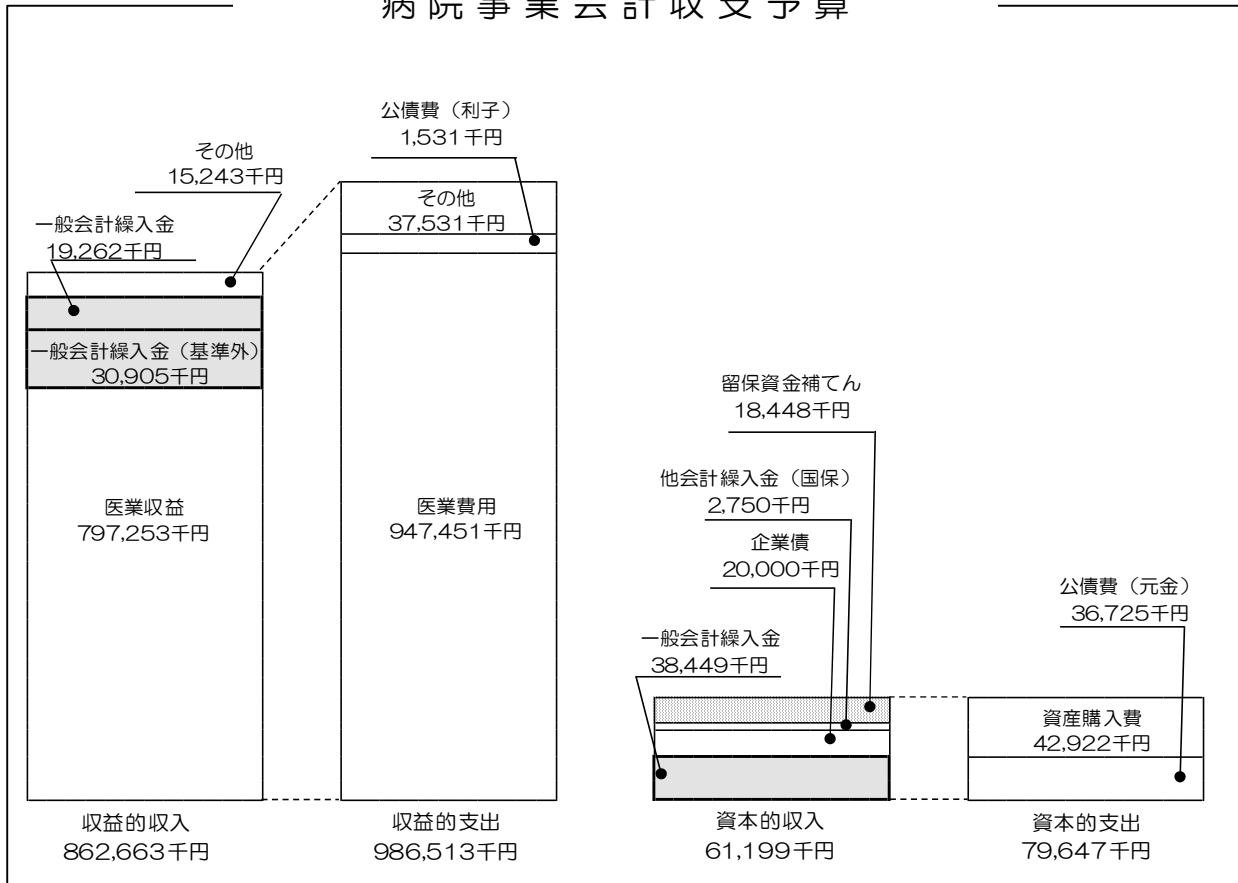
X.公営企業会計の収支

『公営企業会計』とは、特定のサービスを提供する事業会計となっており、サービス利用者からの収入をもって運営する会計となります。また、通常の会計と違い、より民間企業に近い会計処理となっています。

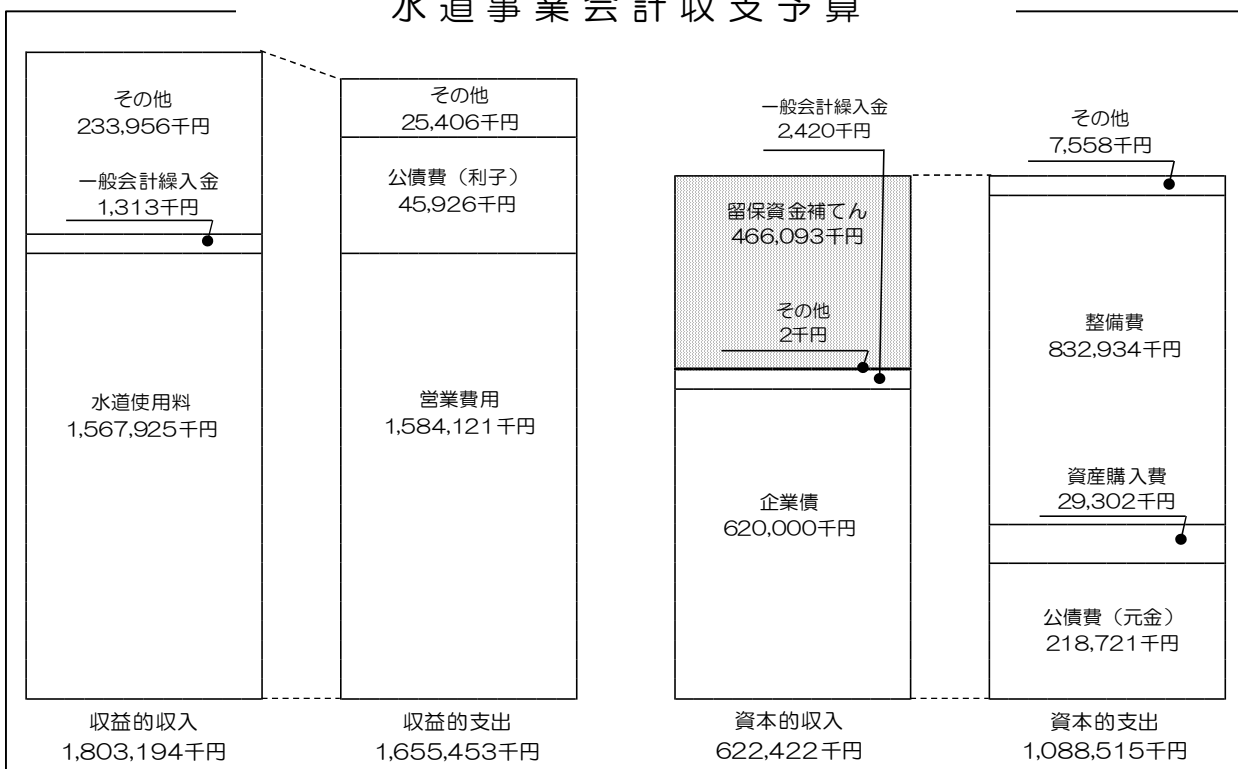
現在市では、病院事業・水道事業・工業用水道事業・公共下水道事業の4会計があります。下記には4会計の令和4年度当初予算を示しています。

公営企業に係る予算については大きく2つに分類され、運営に関わる予算として『収益的収支』、整備などの資産を形成する予算として『資本的収支』により編成されています。

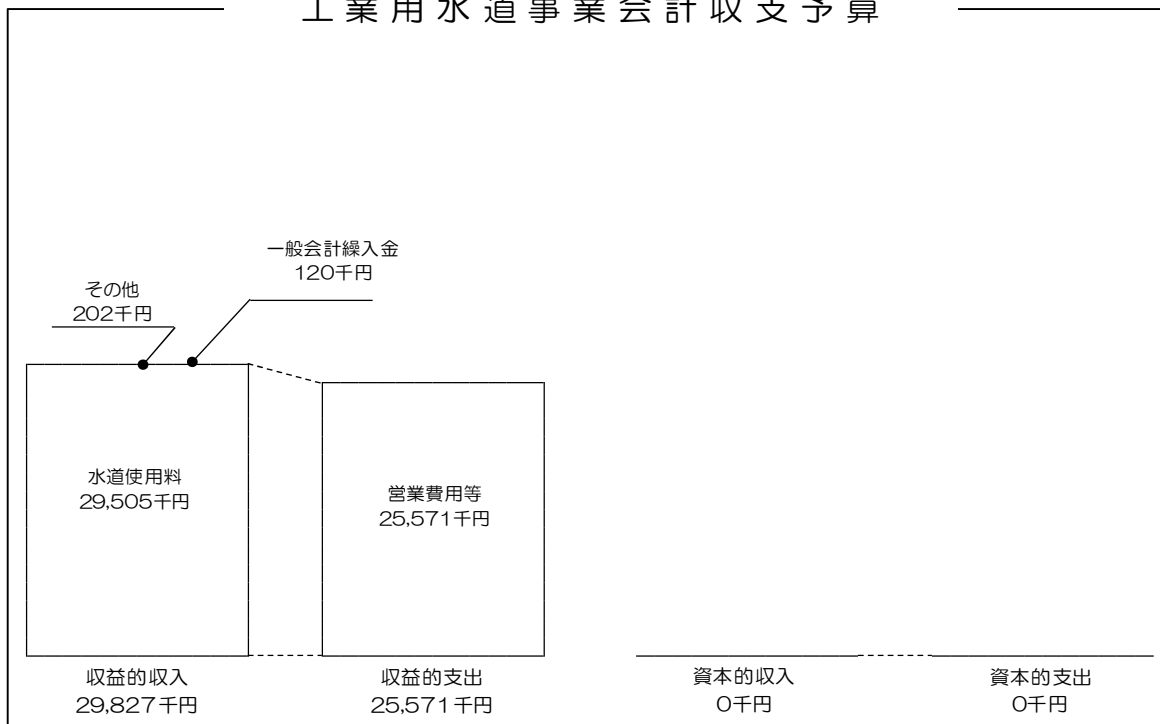
病院事業会計収支予算



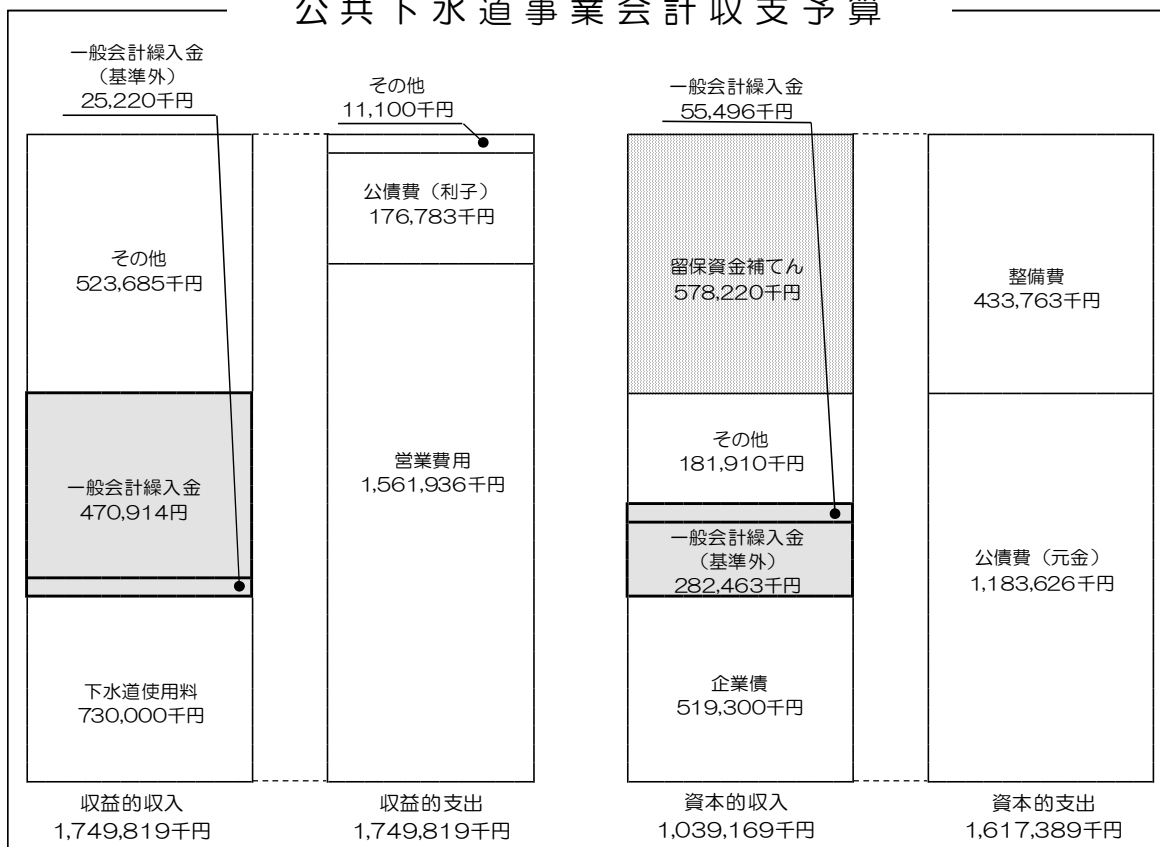
水道事業会計収支予算



工業用水道事業会計収支予算



公共下水道事業会計収支予算



資本的収支の支出超過分については、過年度及び当該年度留保資金などで補てんしています。
 一般会計繰入金については、国の定める基準に基づく『基準内繰出金』と『基準外繰出金』があり、病院事業会計・公共下水道事業会計においては基準外の繰出金が発生しております。『基準外繰出金』については、病院事業において、病児保育の運営費用、公共下水道事業会計において、収支差額分を繰出ししています。
 公営企業会計への繰出金については、会計の収支状況及び収入増の取組みを検討しながら適正に支出してまいります。

わたしたち笠間市民のねがい ー笠間市民憲章ー

笠間市は、豊かな自然に恵まれ、先人たちが育んできた歴史や文化の薫るまちです。わたしたちは、このふるさとを愛し、市民相互の交流につとめ、「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」をめざします。

自然を愛し、美しくゆめのあるまちにしよう
健康で働き、元気でいきがいのあるまちにしよう
歴史と文化を大切にし、豊かでうるおいのあるまちにしよう
思いやりの心を育て、明るいほほえみのあるまちにしよう
きまを守り、安心でやすらぎのあるまちにしよう

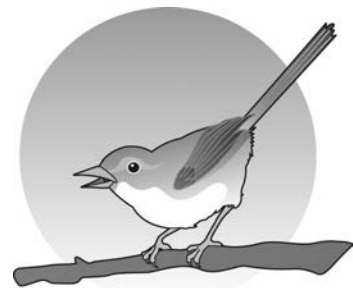
笠間市の花・木・鳥



きく



さくら



うぐいす

令和4年度「わかりやすいかさまの予算」

令和4年3月発行

編集・発行 笠間市総務部財政課

〒309-1792

笠間市中央三丁目2番1号

TEL 0296-77-1101

URL www.city.kasama.lg.jp

加茂

